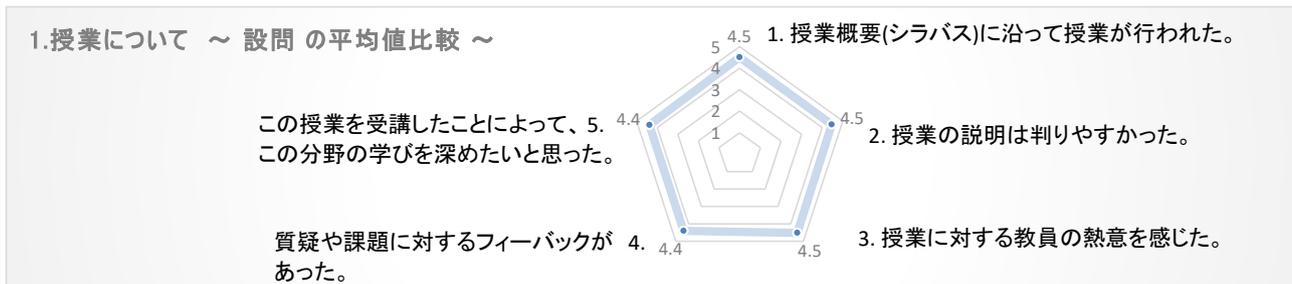
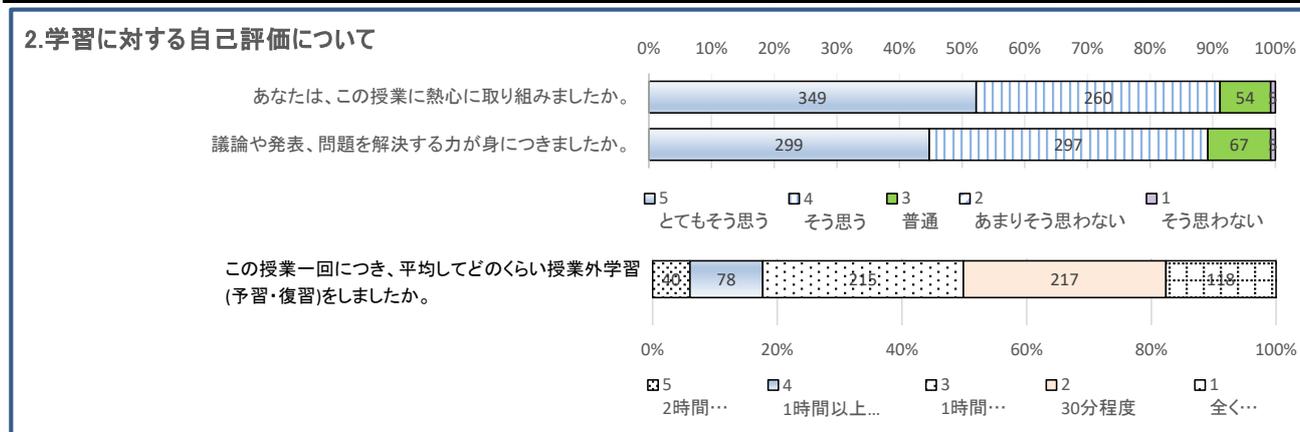


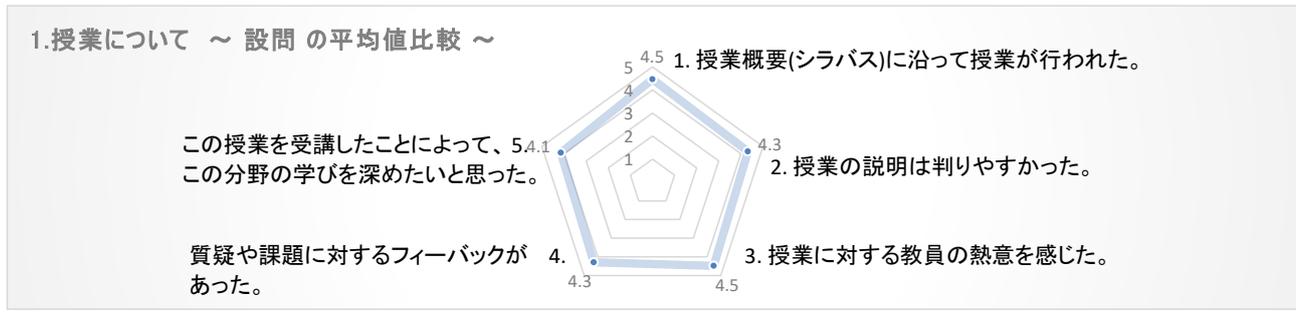
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	400	215	47	1	5	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	374	241	47	1	5	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	406	212	45	0	5	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	348	252	61	2	5	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	336	264	60	1	7	4.4
総平均							4.5



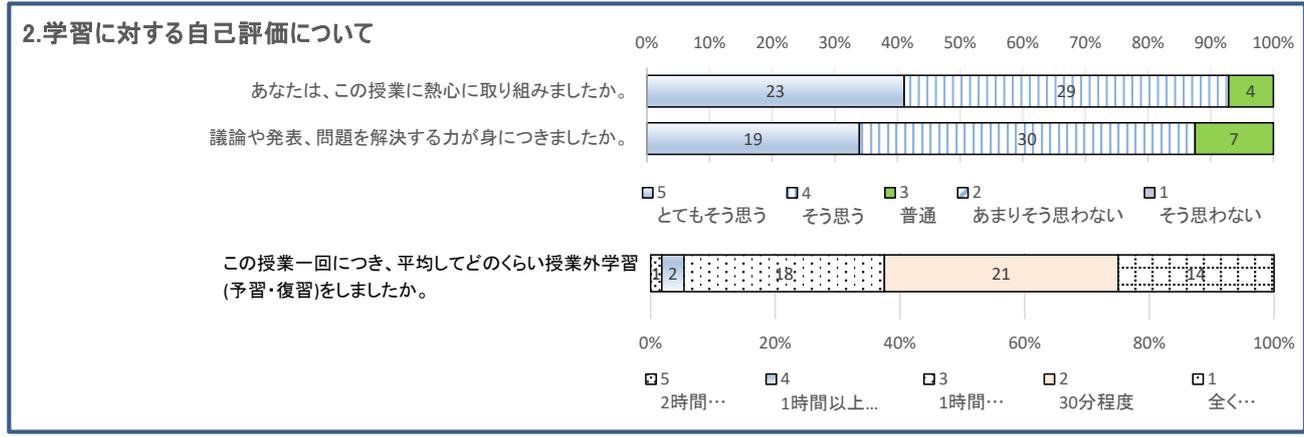
設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	349	260	54	0	5	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	299	297	67	0	5	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	40	78	215	217	118	2.6



設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	29	24	3	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	26	23	6	1	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	30	23	3	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	22	28	6	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	18	30	7	0	1	4.1
総平均							4.3



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	23	29	4	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	19	30	7	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	2	18	21	14	2.2

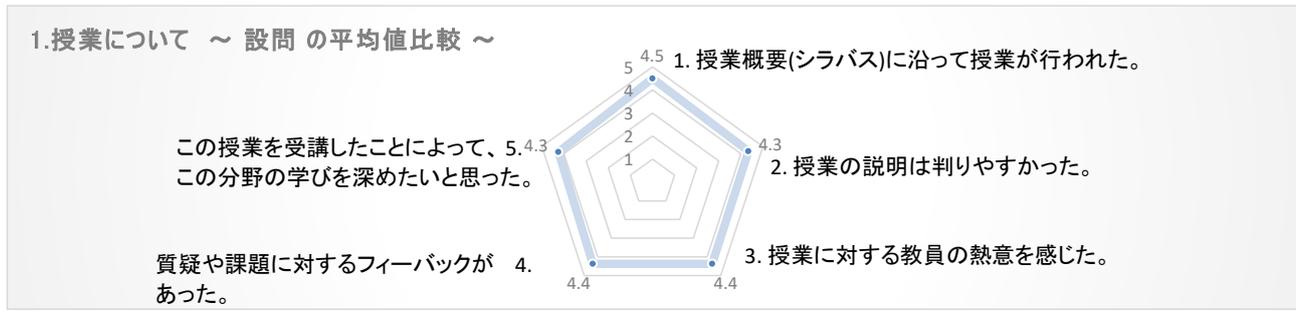


アンケートに対する教員所見

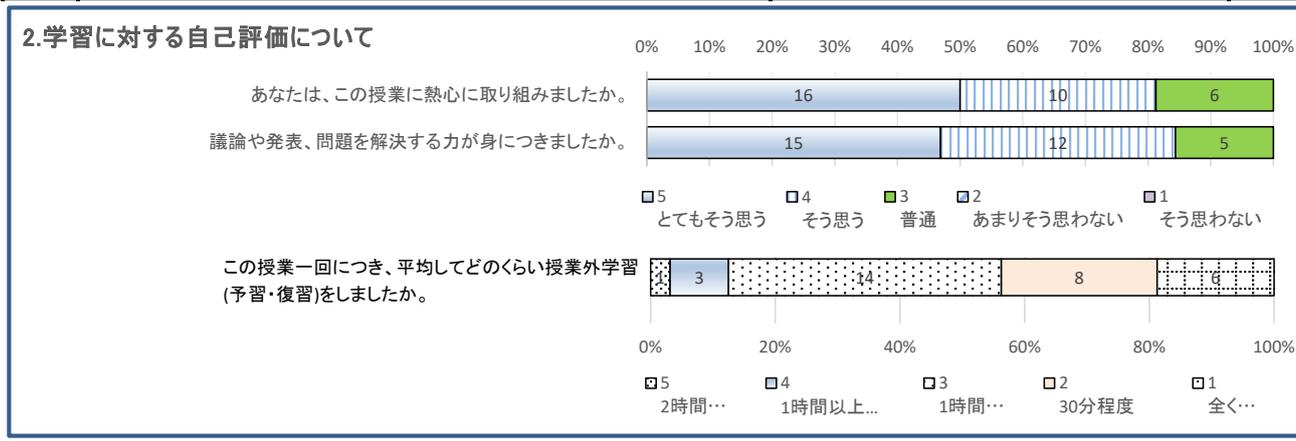
①現状(アンケート結果に対する考察)
 幼児保育学科1年生74名の履修者の内、56名のアンケート回収(76%)であった。すべて対面の90分授業であった。講義プリント及びパワーポイントによる授業で、毎時間、その日の重要ポイントを課題としてレポートにまとめさせたり、スマホを活用して調べさせたりして、その提出を評価の重要な柱とした。タイムリーな新聞記事、具体的な事件を取り上げ、グラフや表を用いて説明したが、なかなか学生の興味を引く内容とするのが難しかった。定期試験の結果を見ても、学習内容を理解しているとは言い難い学生も多かった。将来、教育者の一員として社会に出るにあたって最低限の教育界の知識を持って欲しいと願い、時事問題や最新のニュースに触れつつ、公的機関のホームページや、分かりやすい図表なども用いて、興味を持ってもらえる内容を工夫した。

②課題と展望(授業改善方策)
 定期試験の結果を見ても、基礎的な知識すら定着していないと痛感している。前年度の反省を踏まえ、教科書の重要部分にしぼって、深みのある内容を工夫したが、グループ協議などの機会は少なかった。時事問題にも触れつつ、さらに記憶に残るよう工夫したい。資料も、ただ見せるだけでなく、自分から調べさせるなど、行動を伴うような形式を工夫したい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	19	10	3	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	17	9	6	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	17	10	5	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	16	12	4	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	15	10	7	0	0	4.3
総平均							4.4



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	16	10	6	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	12	5	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していません	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	3	14	8	6	2.5



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

シラバスに沿い、良好に授業を進められたと思います。幼児教育において「食」はとても大切で、学生が興味・関心を持てるような授業を心掛けました。授業の中で、保育園の現場の状況も学生に伝え、子どもとの関わりやマナー等についての大切さも理解してもらえたように思います。

教科書と食品成分表を用いて、学生自身も、健康に配慮した豊かな食生活ができるように促しました。

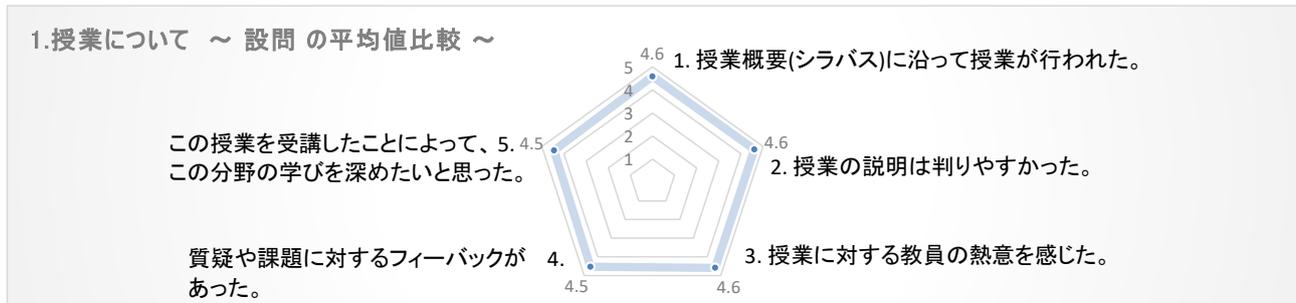
調乳実習、幼児食調理実習を行い、実習を通して理解が深まったように思う。栄養指導(媒体発表)では、日本の伝統行事や食育に関わる発表をし、クラスで共有し、行事食への理解も大半の学生は理解できたように思う。

②課題と展望(授業改善方針)

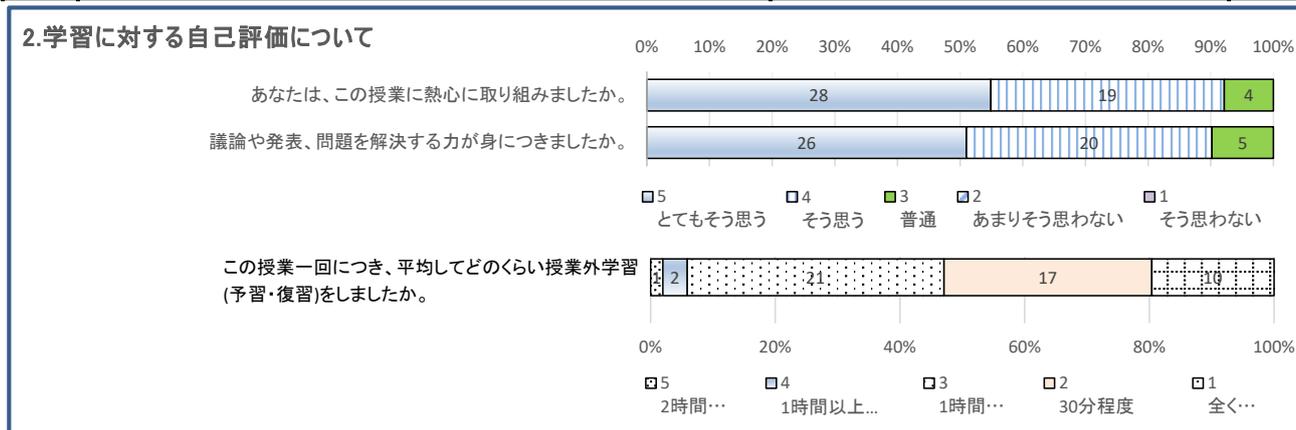
より分かり易い授業を行い、食に興味・関心を持ち、子どもたちにわかりやすい食育活動ができる保育者を育成できるように心掛けて参ります。

必要に応じて予習・復習ができるように、分かり易く課題を出し、意欲的に取り組めるようにしていきたいです。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	33	15	3	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	33	16	2	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	33	15	3	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	31	16	4	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	26	22	3	0	0	4.5
総平均							4.6



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	28	19	4	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	26	20	5	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	2	21	17	10	2.4



アンケートに対する教員所見

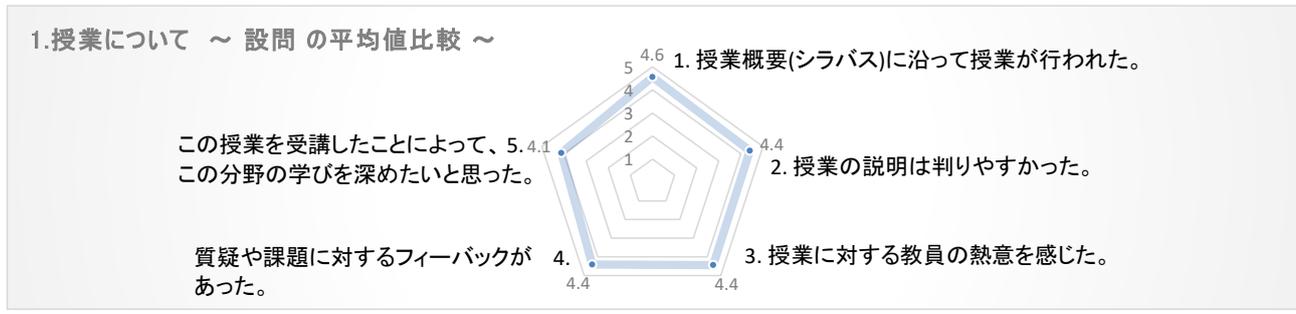
①現状(アンケート結果に対する考察)

当該科目は、保育内容の中の領域健康に関する科目であり、学生が前期「健康」の学びをもとに保育の指導法を考えていけるよう授業を組み立てている。その方法として、学生による模擬保育や発表などグループワークを多く取り入れた。アンケートの結果を見ると、「1. 授業について」の問いでは、すべての項目において4.5以上となっており、授業への満足度は高いと考える。「2. 学習に対する自己評価」では、半数以上の学生が授業に熱心に取り組み、議論や発表、問題解決力が身についたとすることから、多くの学生が授業に熱心に取り組んでいる状況が窺える。これらのことから、模擬保育や発表という取り組みを通して学生自身が授業に参加し作っていることを実感していることが考えられた。一方で、時間外学習をみると約20%の学生が「全くしていない」と回答している。昨年度より減少してはいるものの、グループワークの準備を一部の学生が行っていることが予想された。

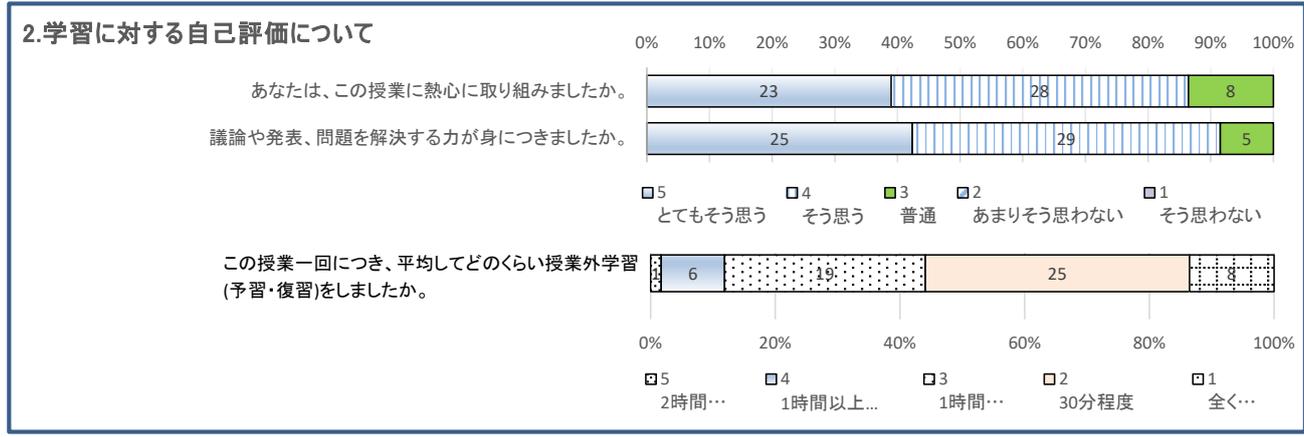
②課題と展望(授業改善方針)

授業外学習の確保が課題である。「全くしていない」の割合は昨年度より減少はしているものの、まだ20%の学生が全くしていないと回答している。昨年度の改善方針のうち、①学生間の役割分担を明確にするという点を取り組んでいたと考えるが、②次回の授業テーマと課題を提示する、③予め個々が取り組んだ課題を持ち寄って作業をしていく授業の工夫をするという点については、授業テーマと課題は提示したものの、個々が取り組んだ課題を十分に活用した授業の展開ではなかった。一人一人の課題を生かせる授業となるよう工夫し、授業外学習の時間の増加を図っていきたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	35	22	2	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	27	29	3	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	31	23	5	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	28	27	4	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	19	31	7	1	1	4.1
総平均							4.4



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	23	28	8	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	25	29	5	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	6	19	25	8	2.4

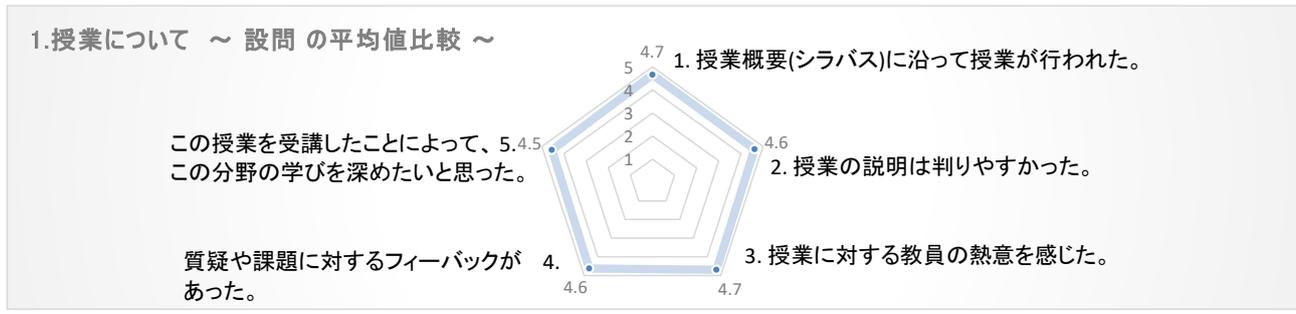


アンケートに対する教員所見

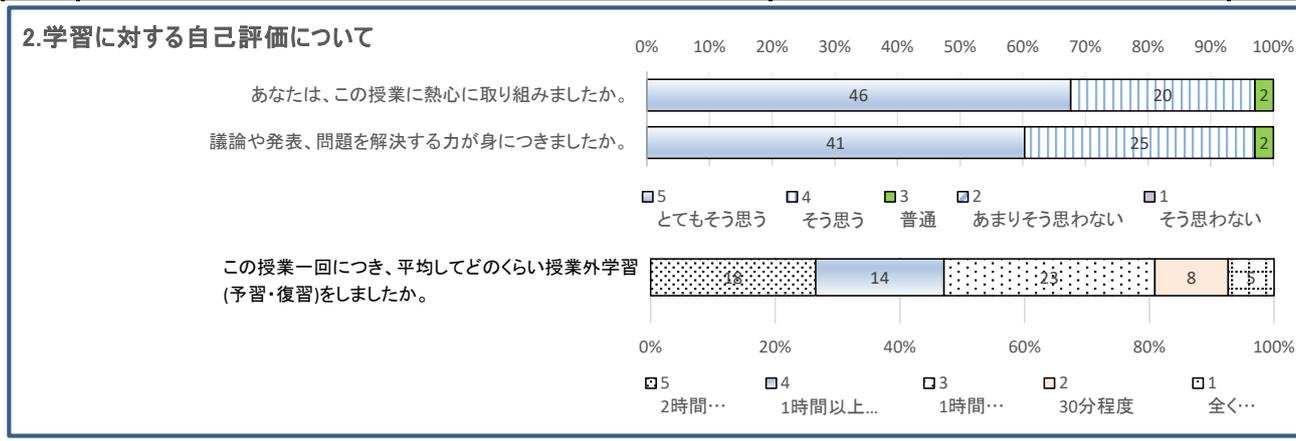
①現状(アンケート結果に対する考察)
 幼児が周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていくことができるための指導力を身につけるといふ大きな目標のもと、前期に学んだ「環境」の授業や学習理論を踏まえ「環境」の12の内容について、保育の構想、指導案の作成、模擬授業の提案等に取り組んだ。(1)～(5)の項目すべてで昨年度よりよい評価が得られている。与えられた模擬授業のグループでの打ち合わせ、発表、発表に対するクラスのグループの振り返り等の多くの時間の中で、学習履歴表の記述の中に皆さんの保育する力が育っていることが見られることをうれしく思います。

②課題と展望(授業改善方策)
 模擬授業後の振り返りシートや学習履歴表(成果については、本学の紀要で報告)という振り返りの時間をとることで、「授業の説明はわかりやすかった」という平均が昨年度に比べ向上している。しかし、発表、グループでの議論、全体的なまとめといった授業方法が90分の中では極めてタイトであり、今少し時間がほしいという学生の声を踏まえ来年度の授業では軽重をつけた見直しを検討していくことにする。一方で、領域「環境」を保育する力の確実な修得は譲りません。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	48	17	3	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	45	20	3	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	50	15	3	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	45	20	3	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	39	27	2	0	0	4.5
総平均							4.6



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	46	20	2	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	41	25	2	0	0	4.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していません	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	18	14	23	8	5	3.5

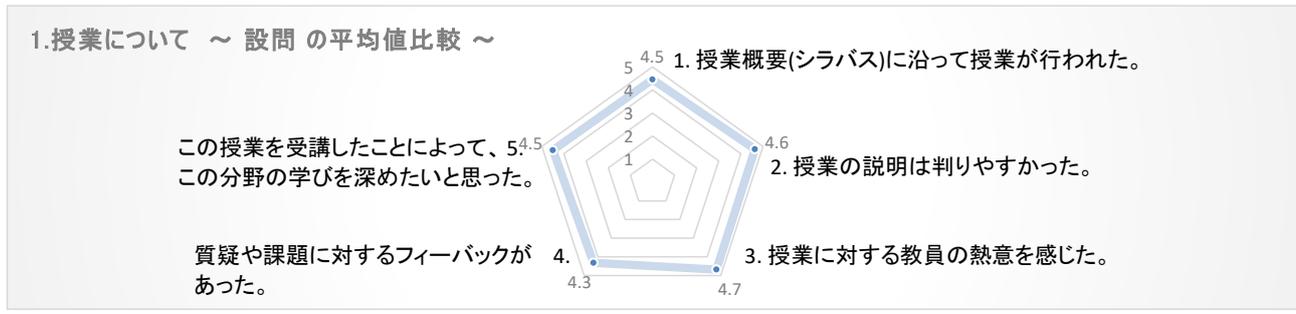


アンケートに対する教員所見

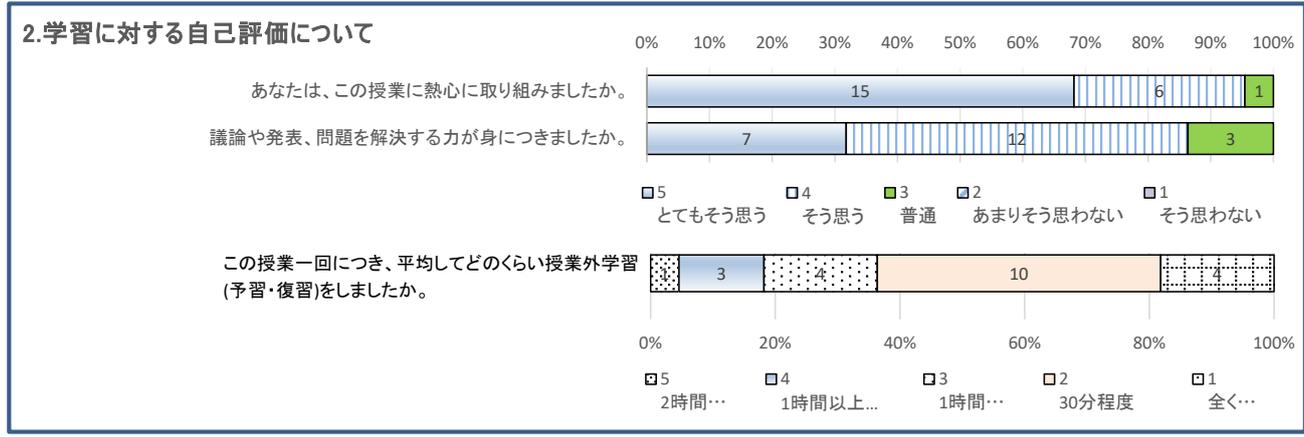
①現状(アンケート結果に対する考察)
 教材の製作、製作した教材を使つての発表、発表に対する相互評価などが授業の中心となるため、学生は「大変感」と「充実感」を併せて感じたのではないだろうか。授業外学習の時間は、決して多いとは言えないが、作品提出までの時間が短いと必然的に時間外に製作せざるを得なくなるという状況の結果が数値に現れているものと考え。

②課題と展望(授業改善方針)
 どうしても作品の製作そのものに気持ちが集中してしまいがちだが、造形表現の授業ではなく、あくまでも子どもの言葉の育ちを支えるための発表、またその発表のための作品制作であることをしっかり認識させて取り組ませる必要がある。発表後の振り返りシートの項目などもさらに工夫し、授業の意図が学生によく伝わるよう改善していきたい。また後期終了後の実習で活用することを旨とした取り組みも、モチベーションを高めるために必要であると考え。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	13	6	3	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	15	6	1	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	16	5	1	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	10	10	1	1	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	13	7	2	0	0	4.5
総平均							4.5



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	15	6	1	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	7	12	3	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	3	4	10	4	2.4



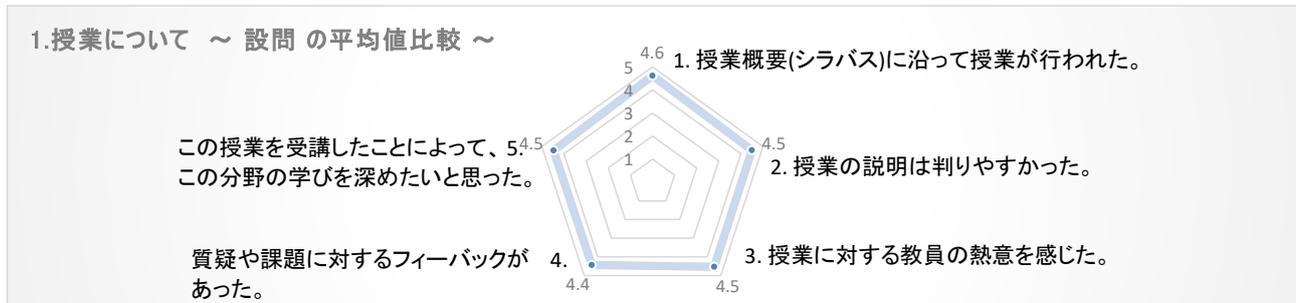
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
 総平均「4.5」の中でも、「授業に対する教員の熱意を感じた」の項目が「4.7」と最も高く示された。1年次の造形表現の授業では、第一に学生たちが造形活動に親しみ、意欲的に取り組む姿勢を育むことが課題である。授業に対する思いが伝わり、学生たちの積極的な姿勢につながったとすれば、授業として第一の関門はクリアできたと感じる。

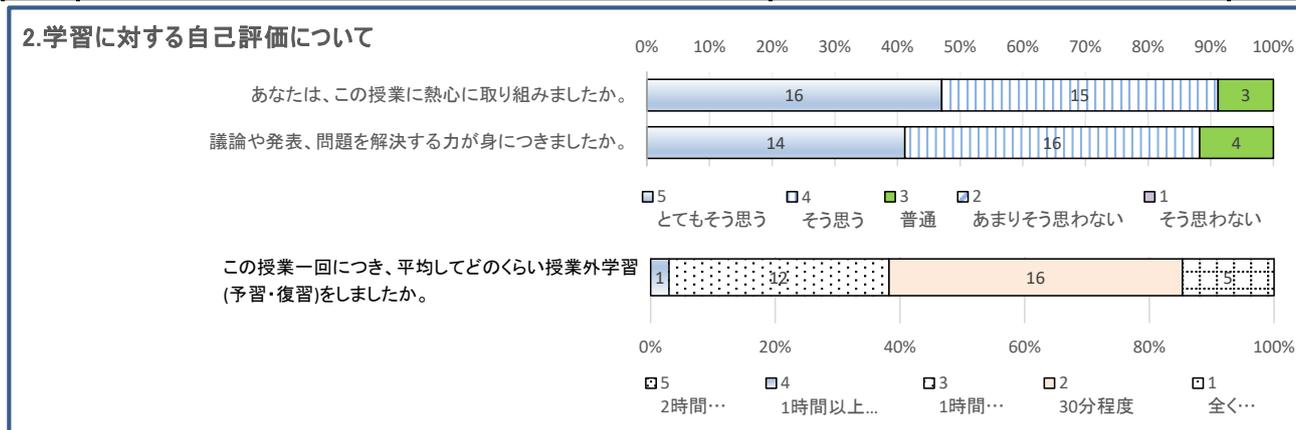
②課題と展望(授業改善方針)
 設問IIの「議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか」の項目が「4.2」と最も低かった。これは、造形活動自体に取り組む時間が長く、鑑賞活動など作品の共有や周囲とのディスカッションに時間を割くことができなかったことが課題として挙げられる。学生たちの製作スピードも考慮しながら、作品に取り組む満足感・達成感と共に、作品を深める時間をどうバランスよくとっていくかが課題である。

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	22	11	1	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	20	11	3	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	20	12	2	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	18	13	3	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	19	12	3	0	0	4.5

総平均 4.5



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	16	15	3	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	14	16	4	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	12	16	5	2.3



アンケートに対する教員所見

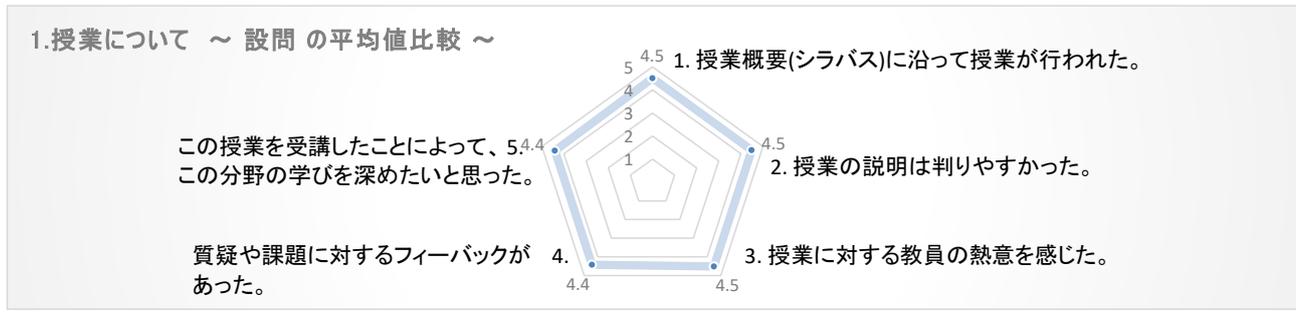
①現状(アンケート結果に対する考察)

今年度は、演習、グループワーク、発表等を多く設定した。演習授業では、グループ毎に意見を出し合い、協力しながら取り組むことが出来、乳児人形を使用する場面では、子どもへの温かい接し方、声掛けの仕方を実践することもできた。また、グループワークでは、自分の考察を発言し、他者の考察を聞くことで学びの理解、広まりに繋がったと考える。絵本の読み聞かせ、手遊びの発表機会を設けることで、より実践に近い学びになるよう努めて行った。

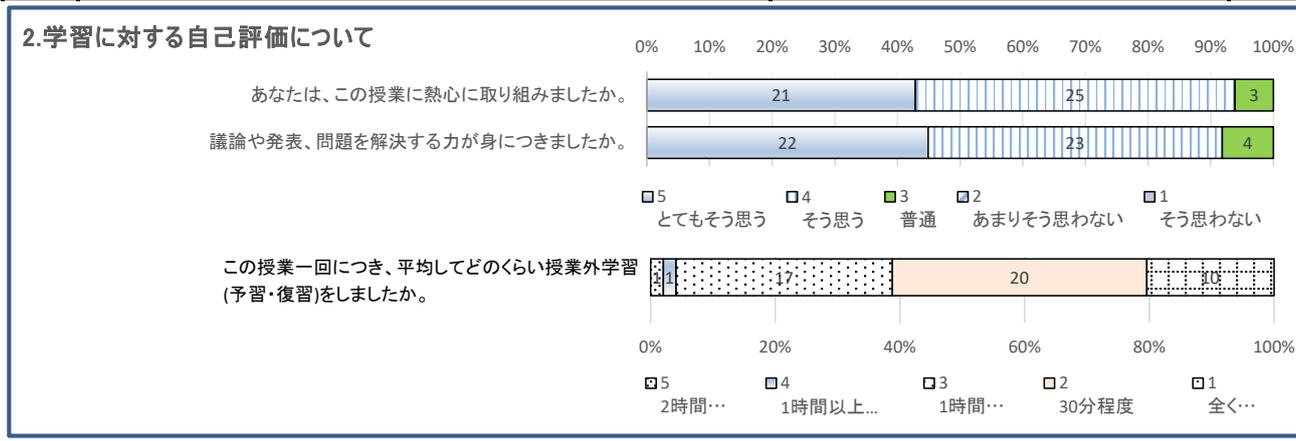
②課題と展望(授業改善方策)

演習時間には、少人数でのグループに設定することで、一人ひとりに十分な演習時間が確保できるよう務めた。今後もより実践に近い形での演習ができるよう取り組んで行く。授業時間外学習では、昨年度より上昇はみられたが、今後も授業の振り返りにつながる課題を強化していく。今後は、授業課題の充実、絵本の読み聞かせ・手遊びの発表の継続、演習内容の充実を計り、授業内容がより身に付き、学びの深まりにつながるよう、強化して参りたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	29	16	4	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	28	17	4	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	29	16	4	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	26	18	5	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	25	19	5	0	0	4.4
総平均							4.5



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	21	25	3	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	22	23	4	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	17	20	10	2.2



アンケートに対する教員所見

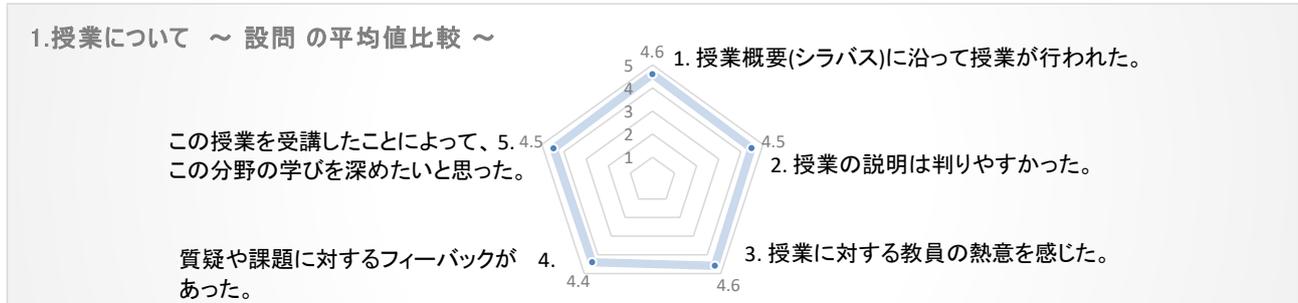
①現状(アンケート結果に対する考察)

熱心に取り組んだ、という自己評価が90%であり、授業理解なども4.5ポイントで高評価であった。具体的な事例をもとにしたアクティブラーニングやワークが学生には理解しやすかったものと思われる。

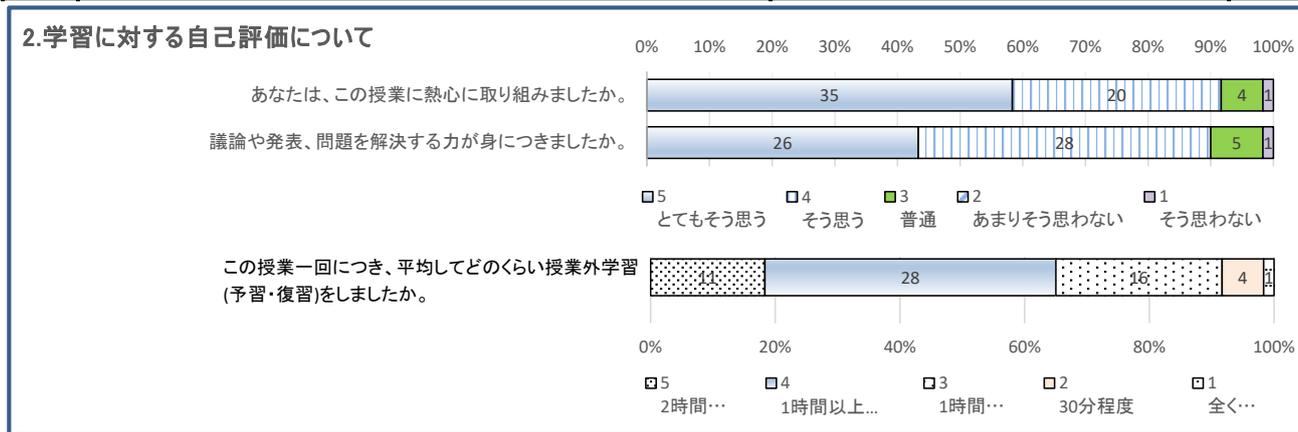
②今後の課題と展望(授業改善方策)

受け身学習ではなく、重要キーワードについて自分たちで調べるようなワークを追加していきたいと考えている。

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	41	16	2	0	1	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	33	25	1	0	1	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	38	21	0	0	1	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	31	24	4	0	1	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	34	22	3	0	1	4.5
総平均							4.5



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	35	20	4	0	1	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	26	28	5	0	1	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	11	28	16	4	1	3.7

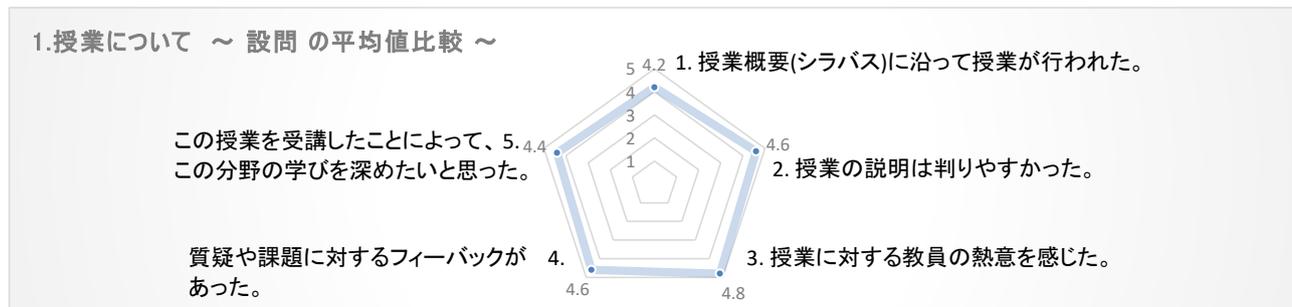


アンケートに対する教員所見

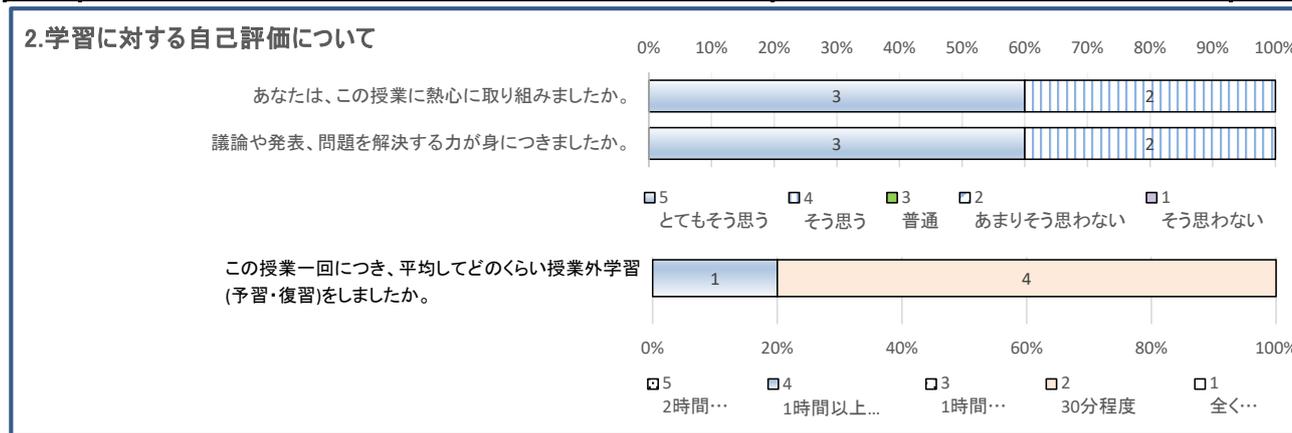
①現状(アンケート結果に対する考察)
設問Ⅰの(1)～(5)の項目における平均ポイントは、4.5ポイントであった。これは、良好な結果だと考える。「質疑や課題に対するフィードバックがあった」(4.4ポイント)、「授業の説明はわかりやすかった」(4.5ポイント)については、それぞれ良好な結果だと考えられるが、他の設問と比較し、とてもそう思う、そう思うの回答の割合は低い傾向にある。そのため、これらの設問における「とてもそう思う」「そう思う」の割合を高めるための改善策を検討することで、平均ポイントのさらなる向上が期待できる。

②課題と展望(授業改善方策)
複数の教員で担当している科目ではあるが、フィードバックや質疑の時間の確保、学生の理解度に応じた説明実施のためのスキル向上等について、共通理解を図りたい。

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	2	2	1	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	2	0	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	1	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	3	2	0	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	2	3	0	0	0	4.4
総平均							4.5



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	2	0	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	2	0	0	0	4.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間 以上 2時間 未満	3 1時間 未満	2 30分程 度	1 全く して いない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	0	4	0	2.4

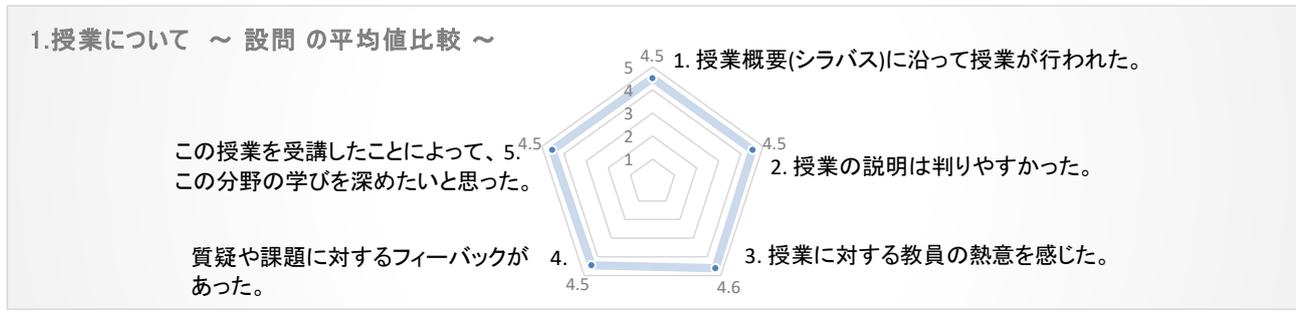


アンケートに対する教員所見

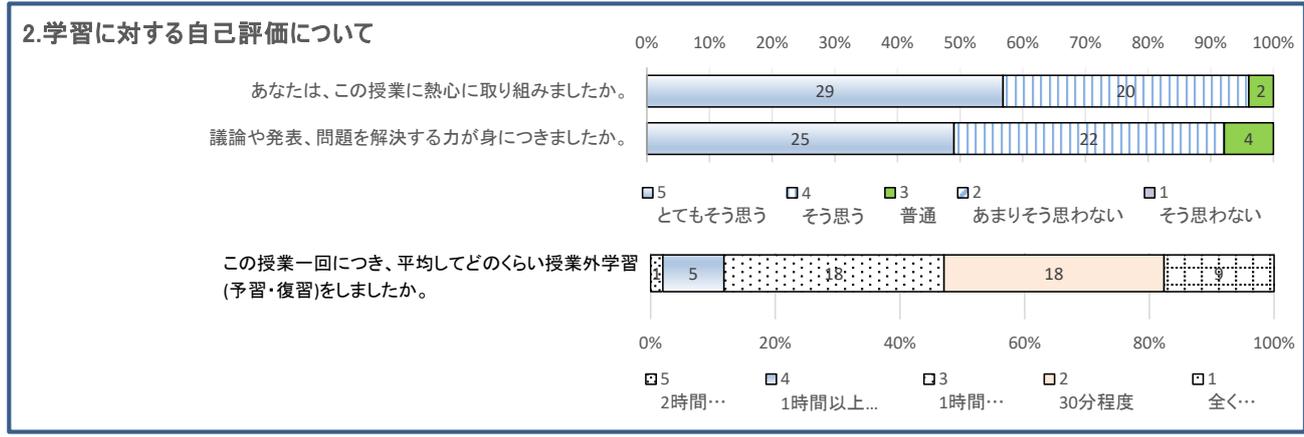
①現状(アンケート結果に対する考察)
 本授業は、①「本授業の体験を通じて、子どもの興味を惹くような演じ方や歌い方を修得し、実践できる。」、②「子どもが演じることを念頭に置き、音楽表現、造形表現、身体表現領域に関する指導・援助の留意点について説明できる。」、③「担当している役割に責任をもって取り組み、よりレベルの高いパフォーマンスを目指して仲間と協働できる。」ことを到達目標として授業を行った。履修者が6名で「シンデレラ」の劇に組み、五峯祭で発表した。総平均は4.5であり、概ね高い評価を得た。自由記述をみると、「はじめは恥ずかしい気持ちが強かったけれど、先生方のご指導により、少しずつ解放されていきました。本番では、メンバーやお客様との一体感を感じ、楽しく演じることができました。最後の歌のシーンでは、やはり少しでもダンスを入れられたらよかったな...と思います。大道具では、時計を作るとさらに雰囲気が出てよかったかなと思います。」と回答する学生もいた。五峯祭の発表では実際に多くの子ども達がお客さんとして参加し、学生は練習してきたこと以上に堂々と演じることができた。本番を終えた後の充実感や達成感が本アンケートの結果に表れたものと推察する。

②課題と展望(授業改善方策)
 本授業は履修学生が少ないほど、学生一人一人の取り組む作業が増え、負担になる傾向がある。また、開講時期は1年次だが、専門的な表現スキルを学ぶには時期的に早すぎるという意見もある。これらを踏まえ次年度はゼミ単位で取り組めるような学習内容を検討しているところである。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	31	15	5	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	31	16	4	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	34	14	3	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	27	20	4	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	30	18	3	0	0	4.5
総平均							4.5



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	29	20	2	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	25	22	4	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	5	18	18	9	2.4

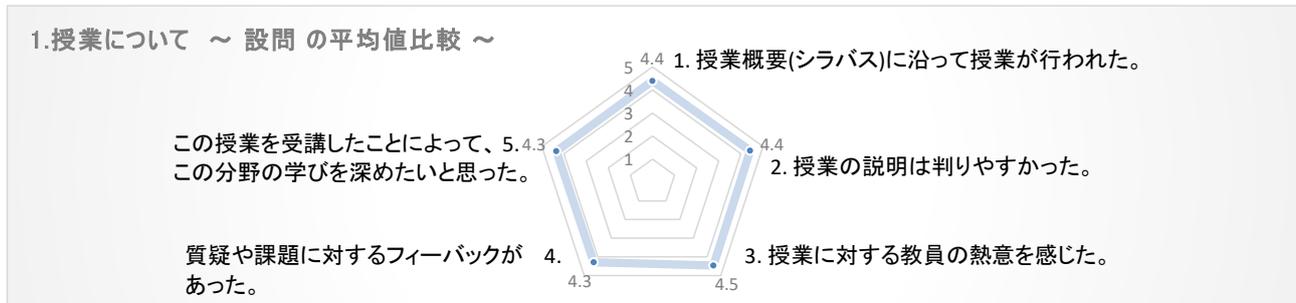


アンケートに対する教員所見

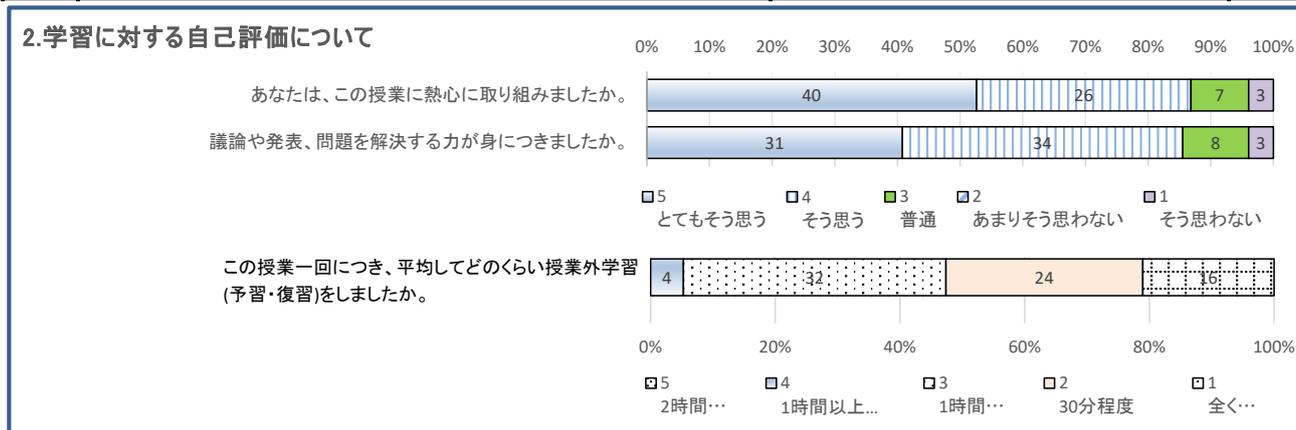
①現状(アンケート結果に対する考察)
 全体的にどの項目も「4. 5」あたりを示しており、1年次の実習に向かう姿勢づくりや知識・技能の修得には、意欲的に取り組んでいたと感じる。

②課題と展望(授業改善方策)
 本授業は「教育実習」「施設実習」とのバランスを見ながら、内容をより精査する必要がある。今回は「指導案の作成」「日誌の記録の仕方」などに重点を置いてフィードバックを行ったが、次年度はシラバス内容の変更とあわせて、より実践的な試みを行いながら、保育に向かう姿勢をつくっていくことが課題である。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	47	19	6	1	3	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	45	24	4	0	3	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	49	19	5	0	3	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	40	24	9	0	3	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	42	24	7	0	3	4.3
総平均							4.4



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	40	26	7	0	3	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	31	34	8	0	3	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していません	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	32	24	16	2.3



アンケートに対する教員所見

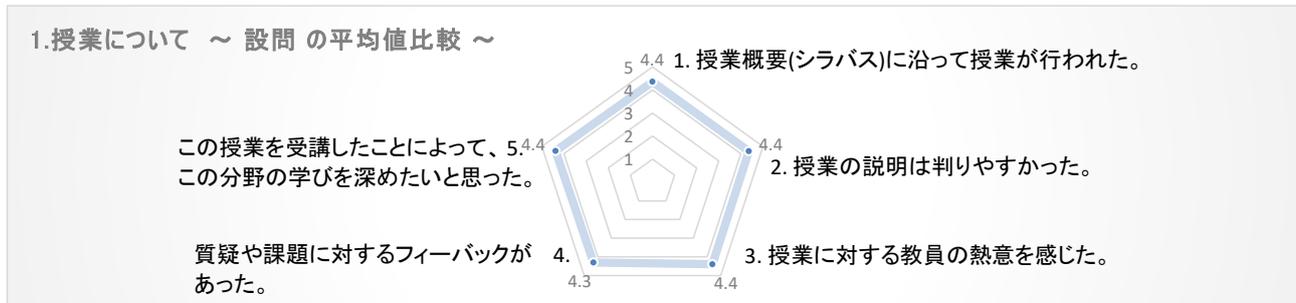
①現状(アンケート結果に対する考察)

当該科目は、教育実習 I (1年次:観察・参加実習)の事前・事後指導として開講されている。教育実習 I は、学生にとって初めての実習となることから、事前指導では社会人としてのマナーや実習に必要な手続きなど基本的な事柄が中心となっている。アンケートの結果をみると、「1. 授業について」では、全項目において多くの学生が「とてもそう思う」と回答している。「2. 学習に対する自己評価について」では、「授業に熱心に取り組んだ」は約50%が、「議論や発表、問題を解決する力が身についた」は約40%が「とてもそう思う」と回答していた。これらのことから、学生は授業へ満足感をもって熱心に受講していることが窺えた。一方で、全項目において「そう思わない」と回答したものが3名あったことから、全てにおいて受け入れていない学生がいたと思われる。

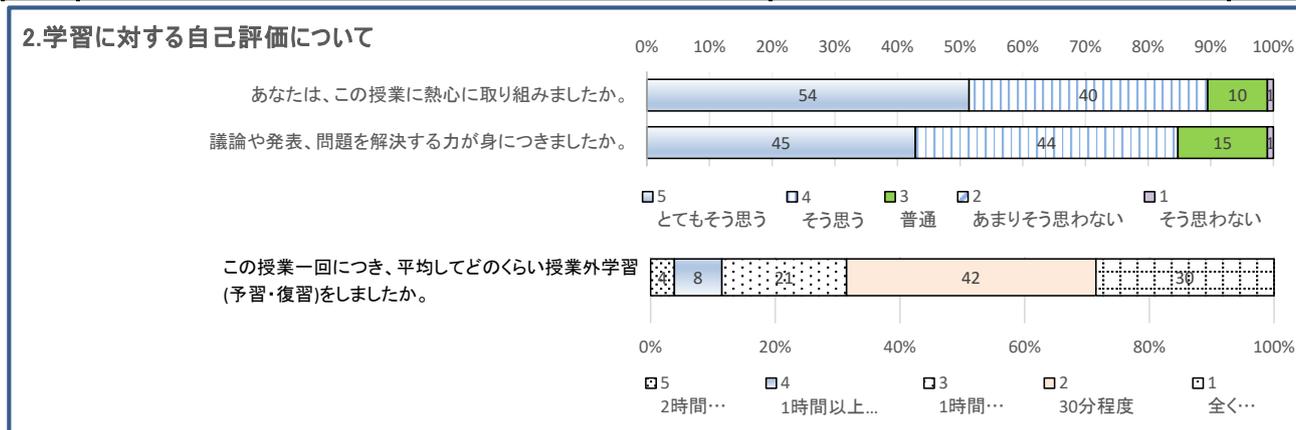
②課題と展望(授業改善方策)

他の質問項目に比し「議論や発表、問題を解決する力が身についたか」の項目の結果がやや低い値となったことから、毎時間グループワークを行い、改善をかかかっていきたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	51	42	11	0	1	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	51	43	10	0	1	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	55	38	11	0	1	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	51	38	14	1	1	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	54	39	11	0	1	4.4
総平均							4.4



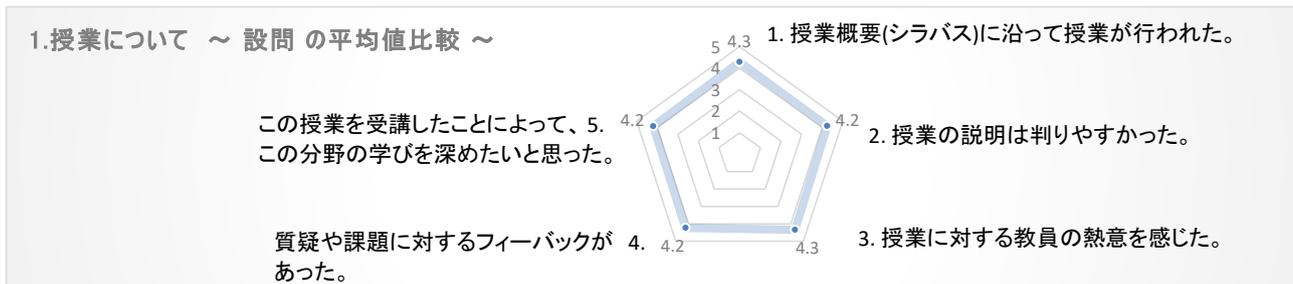
設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	54	40	10	0	1	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	45	44	15	0	1	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	8	21	42	30	2.2



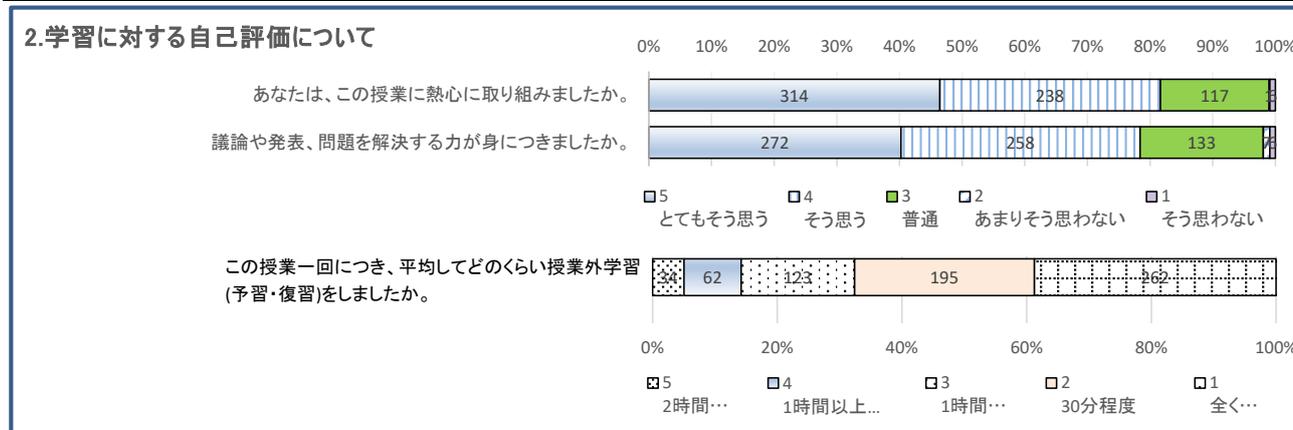
アンケートに対する教員所見

- ①現状(アンケート結果に対する考察)
 数値を比較する限り、2年生の卒研ゼミのそれとほぼ似たような数値が並んでいる。その前年の取組を考えれば、各ゼミでこれまでとほぼ同様の取組がなされ、これまでと同じような成果を上げることができたこととみることができるのではないだろうか。以前から、プレゼミの評価と、その評価に入れるべき卒研発表会の実施時期の問題は、まだ解決されないままとなったが、来年度のプレゼミの大幅な改定の中で、こうした問題も含めて改善され、数値が少しでも上向くように取り組みたい。
- ②課題と展望(授業改善方策)
 先輩の取組を見て学ぶというのが、プレゼミの大きなねらいであることを考えれば、1年生の数値から読み取れる内容は肯定的に評価できるものとする。ただ、来年度からの大幅な内容変更が、どのような結果につながるかは見通せない。授業の取組、身につけて力の自覚の点において「とてもそう思う」の数値が少しでも増えるよう取り組んでいきたい。

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	324	236	107	3	6	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	315	228	122	5	6	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	361	204	98	7	6	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	322	213	126	7	8	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	301	226	135	4	10	4.2
総平均							4.3



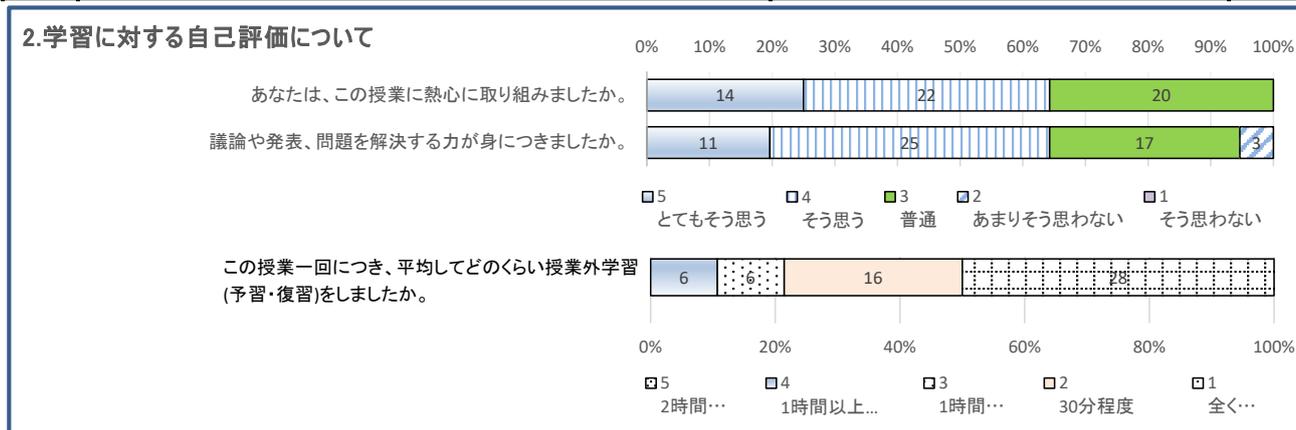
設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	314	238	117	1	6	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	272	258	133	7	6	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	34	62	123	195	262	2.1



設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	25	17	0	0	3.9
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	11	25	19	1	0	3.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	15	24	15	2	0	3.9
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	9	25	19	2	1	3.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	24	20	0	1	3.8
総平均							3.8



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	14	22	20	0	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	25	17	3	0	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	6	6	16	28	1.8



アンケートに対する教員所見

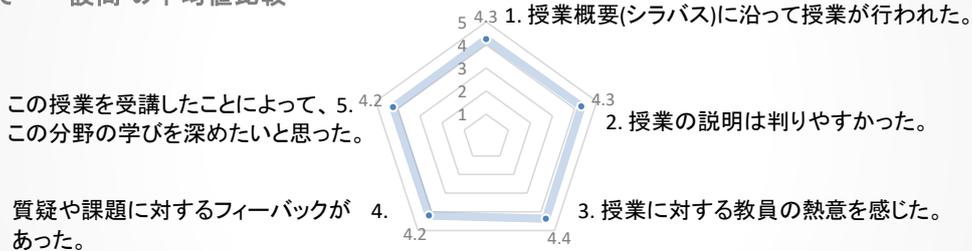
①現状(アンケート結果に対する考察)
 これまで保育内容や遊びについて検討することが多かったようであり、家庭支援という分野については初めて話を聞くといった受講生が多かった。そのために、こうした家庭支援の問題について授業を通して少しずつ関心をもったようである。アンケートの結果はそうした学生の心理的状況が反映していると思われる。

②課題と展望(授業改善方針)
 実習では園の送迎などで保護者と接することもあり、家庭支援の問題に対して日頃から関心をもつように1年次から説明することが大切である。就職の時期が近くなるにつれて、こうした家庭支援の問題にも関心をもつようになってきたと考えられる。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わな い	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	19	27	6	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	22	24	6	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	24	23	5	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	19	25	7	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	21	23	7	0	1	4.2

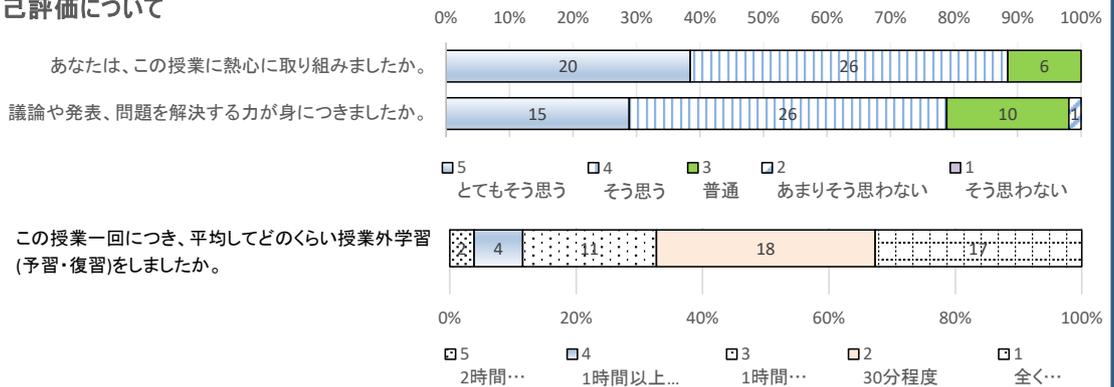
総平均 4.3

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わな い	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	20	26	6	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	26	10	1	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	4	11	18	17	2.2

2. 学習に対する自己評価について

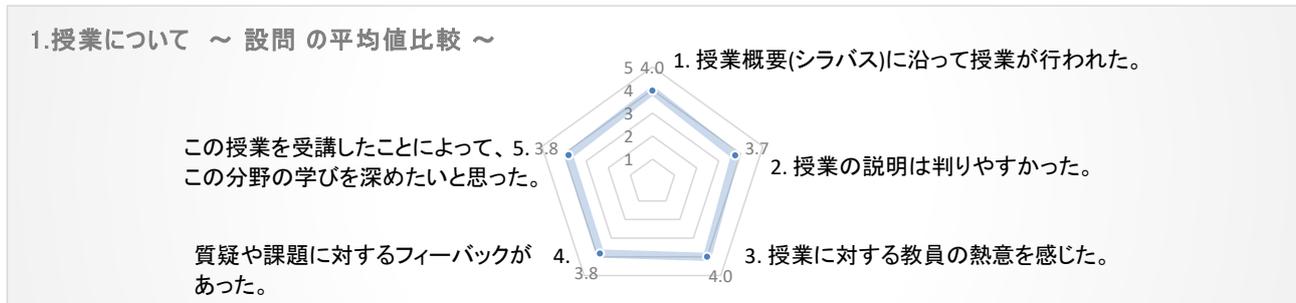


アンケートに対する教員所見

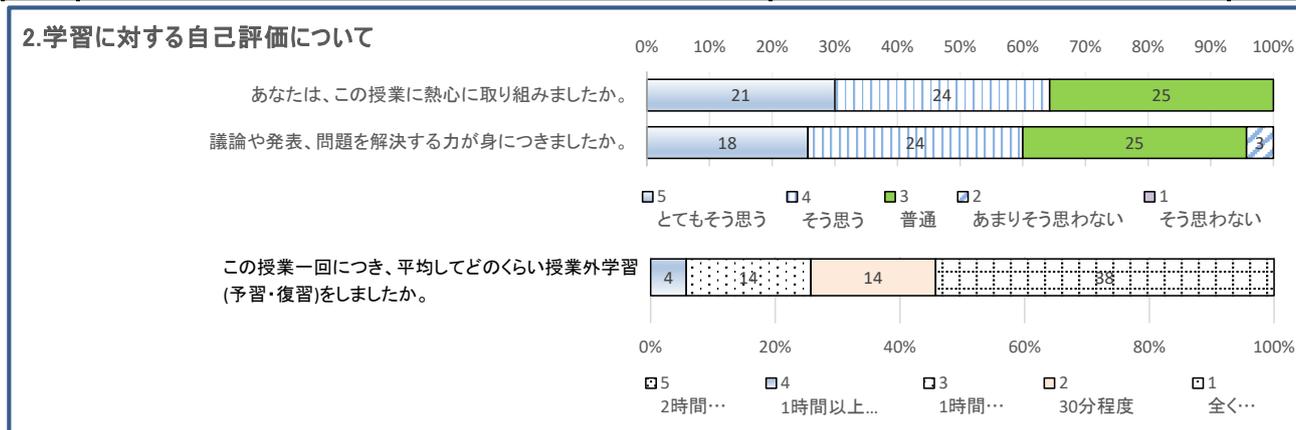
①現状(アンケート結果に対する考察)
総合評価4.3ということで、まずまずの結果が得られたように思う。

②課題と展望(授業改善方策)
次年度はワークシートやレポートのフィードバックの方法をより充実させ、講義の中で解説する。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	21	28	19	2	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	16	24	27	2	1	3.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	25	23	19	3	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	21	18	29	2	0	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	18	23	25	4	0	3.8
総平均							3.9



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	21	24	25	0	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	24	25	3	0	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	14	14	38	1.8

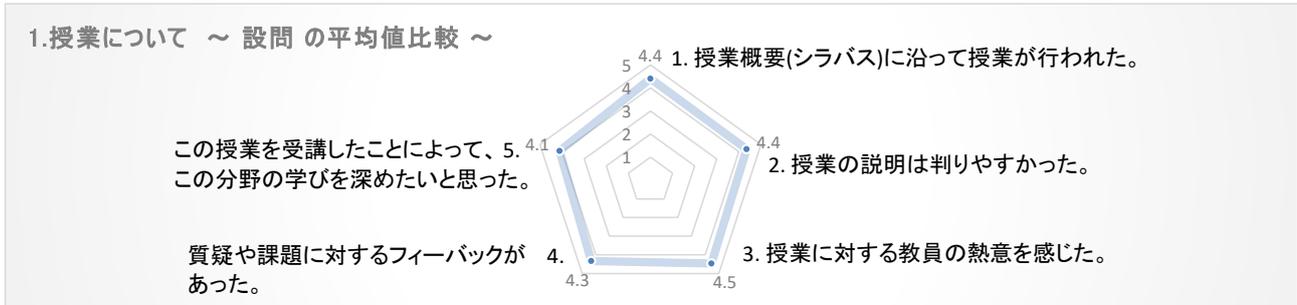


アンケートに対する教員所見

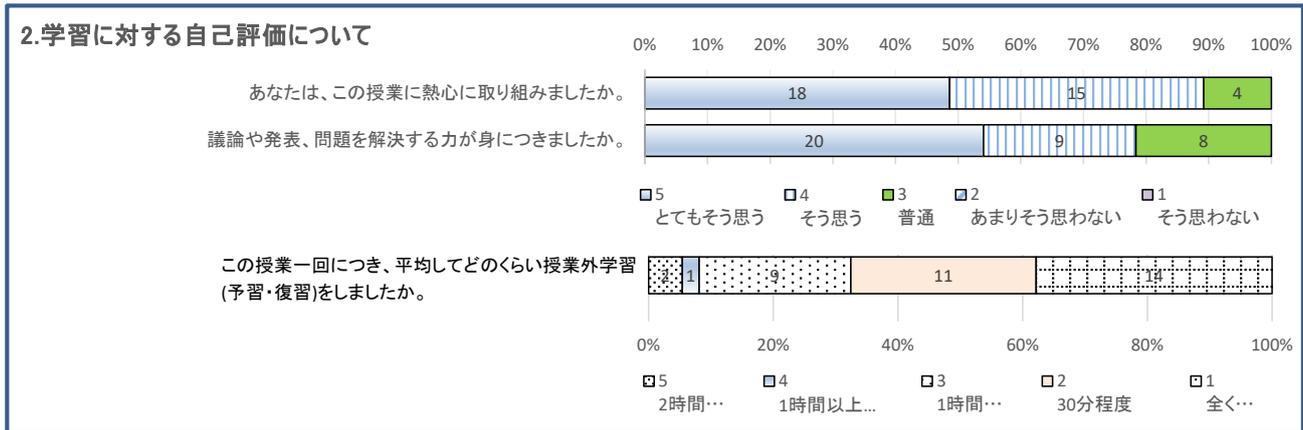
①現状(アンケート結果に対する考察)
 予習・復習に取り組まない学生が多いように思われる。授業では演習のために保育内容を具体的に示すように進めていたが、そのために授業の理解に難しさを感じる学生があまりみられなかったも原因としてあげられる。

②課題と展望(授業改善方策)
 この授業は2年次の後期に開講された。できればこれは2年次の前期に開講されることが望ましいように思われる。2年次の夏の実習において自由保育の園で実習する学生が数名いた。少子化に伴い、今後自由保育の園が増えていくが、自由保育を知らない学生にとってこうした自由保育の実習には戸惑いを感じたようである。そのために、この授業では特にそうした現状を踏まえて、自由保育を中心にさまざまな保育を説明した。実習前にこの授業があれば役立ったように思われる。

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	19	14	4	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	17	16	4	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	20	14	3	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	17	15	5	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	14	15	7	0	1	4.1
総平均							4.3



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	18	15	4	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	20	9	8	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	1	9	11	14	2.1

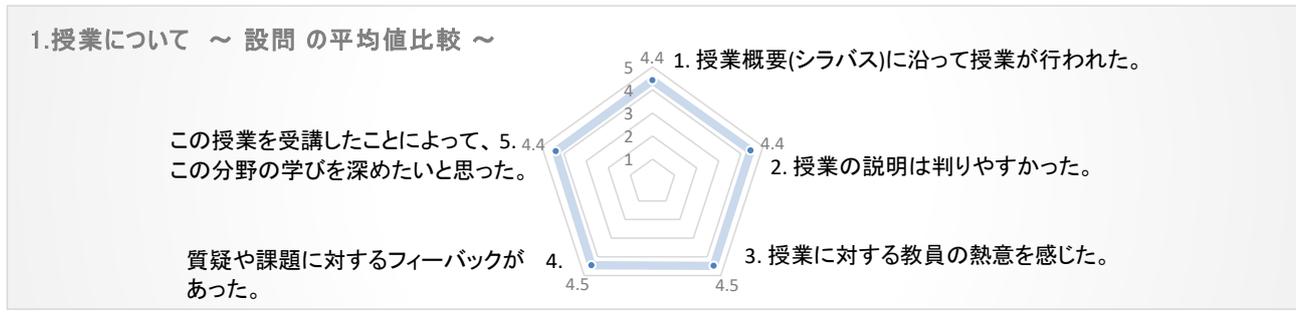


アンケートに対する教員所見

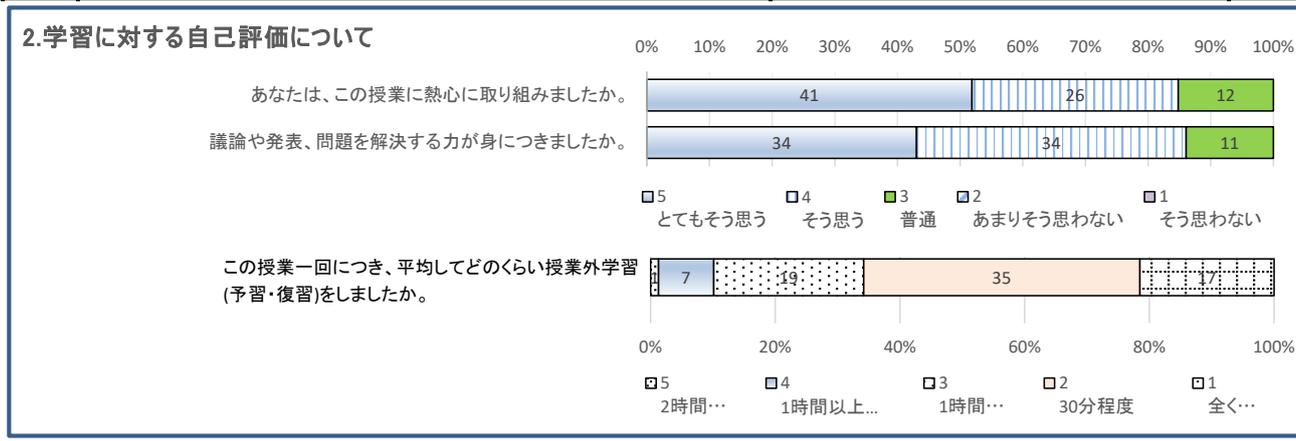
①現状(アンケート結果に対する考察)
 昨年と同様に今年度もグループ討議や発表に重点を置くことができた。レポートの内容にも工夫を凝らし在宅での学びを促したが、設問Ⅱ(3)在宅外学習(予習復習)に「全くしていない」と「30分程度」と答えた学生が25名もいたことは、今後の対策が必要、と痛感した。設問Ⅰ(5)の「～この分野の学びを深めたいか」の設問について、37名中29名の学生が「5」と「4」に付けたことは評価したい。興味を持ってもらうことが学びの原点であり、きっかけを与えられたことはこの授業の目的の1つが達成できた、と理解した。

②課題と展望(授業改善方策)
 学習は、予習復習があつてこそ理解の定着が図られる。いかに時間外の学習に興味を持って取り組むことができるかが鍵である。課題は、学生にとって身近で馴染みやすい内容にする必要がある。加えて今年度のレポート課題については事前の学習と事後の話し合いを設けたい。
 グループワークを実施したことにより学生同士の討議、考察及び発表に取り組むことができた。設問2(2)の討議や発表、問題を解決する力が身についたか、に29名が「とてもそう思う」「そう思う」に答えたことは評価できる。今後も同様の取り組みを継続したい。

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	44	24	11	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	45	24	10	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	46	25	8	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	46	23	10	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	42	24	13	0	0	4.4
総平均							4.4



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	41	26	12	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	34	34	11	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く して いない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	7	19	35	17	2.2

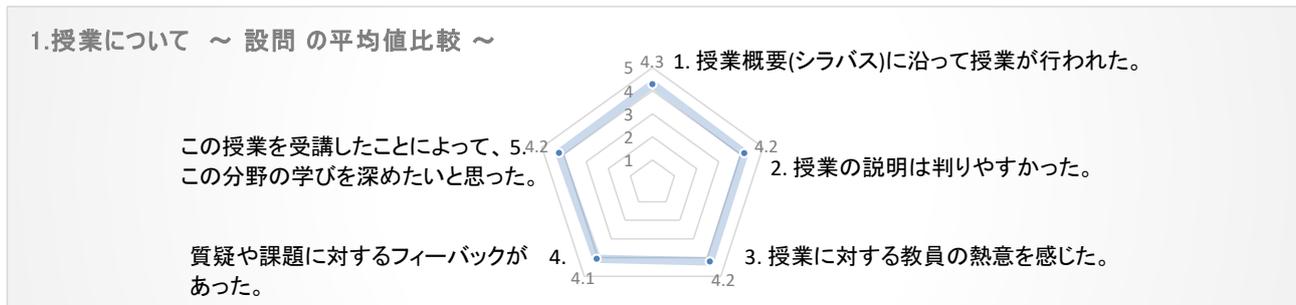


アンケートに対する教員所見

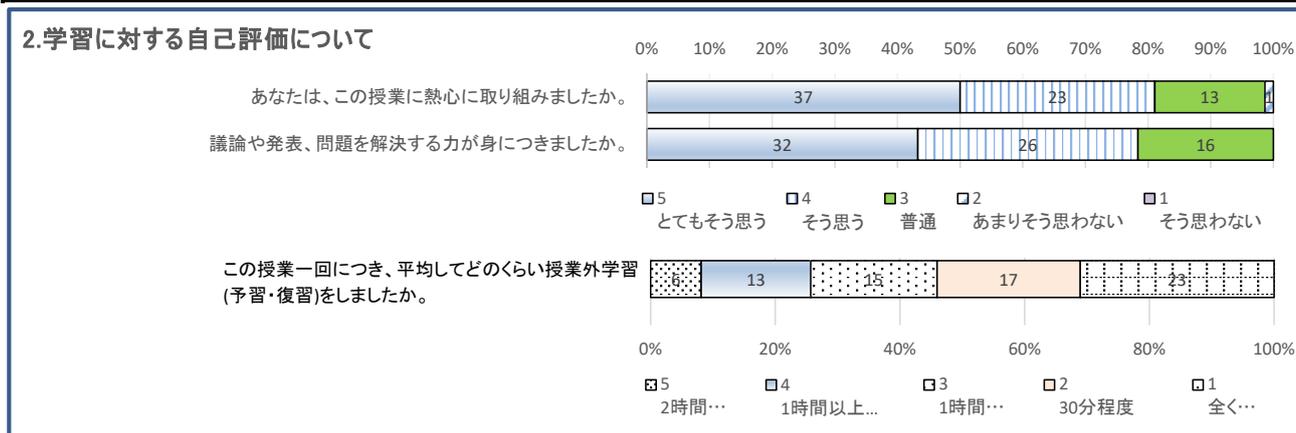
①現状(アンケート結果に対する考察)
 全体的に過去数年と比較して点数が上昇しているため、この科目で教員が学生に伝えたいことがこれまで以上にしっかりと伝わるようになってきたものと考えられる。

②課題と展望(授業改善方針)
 授業の方法を見直して2年目となった。授業時間外学習に関して改善前と比較すると平均値に上昇が見られることから、学生が主体的に学びに向かうよう学生の姿勢にも改善が見られているものと考えられる。しかし、それでも授業時間外学習を「全くしていない」という回答が17名もあることから、さらに課題の出し方を工夫していきたい。

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	36	24	13	1	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	31	25	17	1	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	32	27	13	2	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	29	24	19	1	1	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	32	26	16	0	0	4.2
総平均							4.2



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	37	23	13	1	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	32	26	16	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。	6	13	15	17	23	2.5

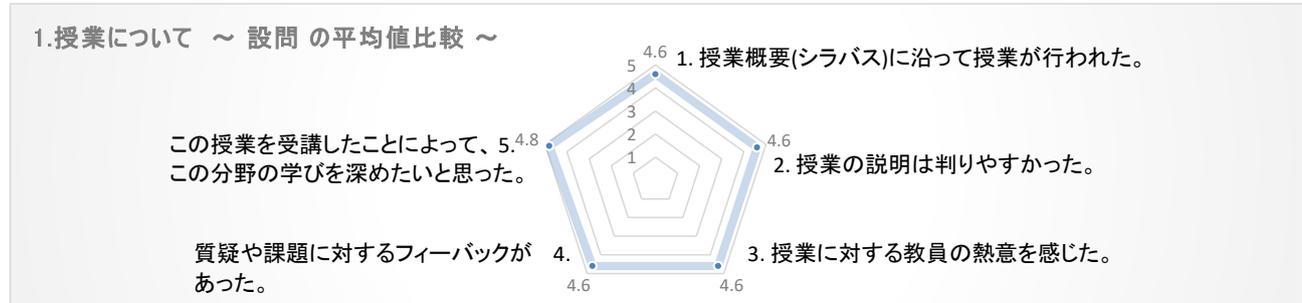


アンケートに対する教員所見

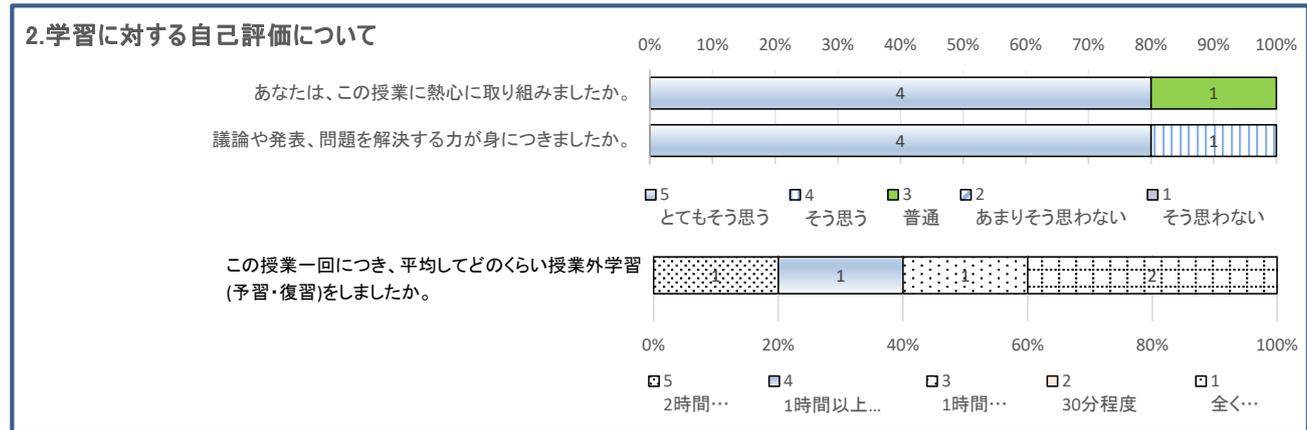
①現状(アンケート結果に対する考察)
 設問 I の授業についてのアンケート結果は、4.2ポイントという数字であった。これは昨年と同じ数値である。今年度もこの授業の意義をとらえていたのではないかと考えている。設問 I (5)「この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。」に対しては今年も4.2ポイントの評価であった。電子紙芝居等の新しい分野を意識した授業構成が評価されたのではないかと考えている。この分野の学習については、パソコンの操作技術の差も考慮しなければならない点である。また、電子紙芝居、クリスマス会等の個人、グループの発表の時間をつくり、具体的に評価することができたことはよかったのではないかと考えている。学生の自由記述の中にも新しい分野を学べてよかった、現場で役立つという記述が多く見られた。ただ、パソコンの技量にはかなりの差があり、これが学習意欲の低下につながっている学生もいる。きめ細かい対応が必要である。

②課題と展望(授業改善方針)
 設問 II (1)「あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。」(4.4)と高い評価を得ている。前述したように、この授業では、自分で考え、作成する時間、発表する時間が多く、授業を重ねるごとに、学生の熱意を感じる事ができた。学生の違った一面を理解することができたのは大きな成果であったと考えている。楽しみながらパソコンに取り組んでいる学生も多かった。ハイレベルの作品を仕上げた学生も見られた。発表に対しては、そのつど口頭で評価を行った。また、この授業に対する授業外学習をまったくしていない学生も23名31.1%おり対策を考えたい。

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	3	2	0	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	2	0	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	0	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	0	1	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	1	0	0	0	4.8
総平均							4.6



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	0	1	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	1	0	0	0	4.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	1	0	2	2.8

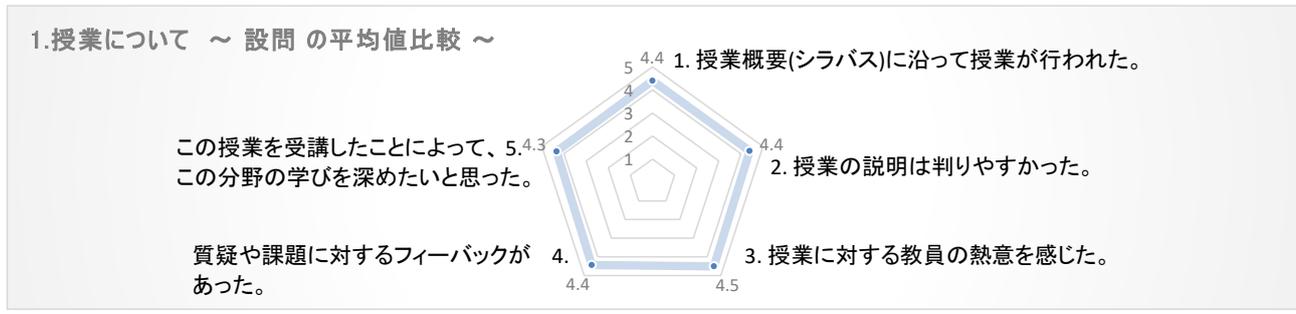


アンケートに対する教員所見

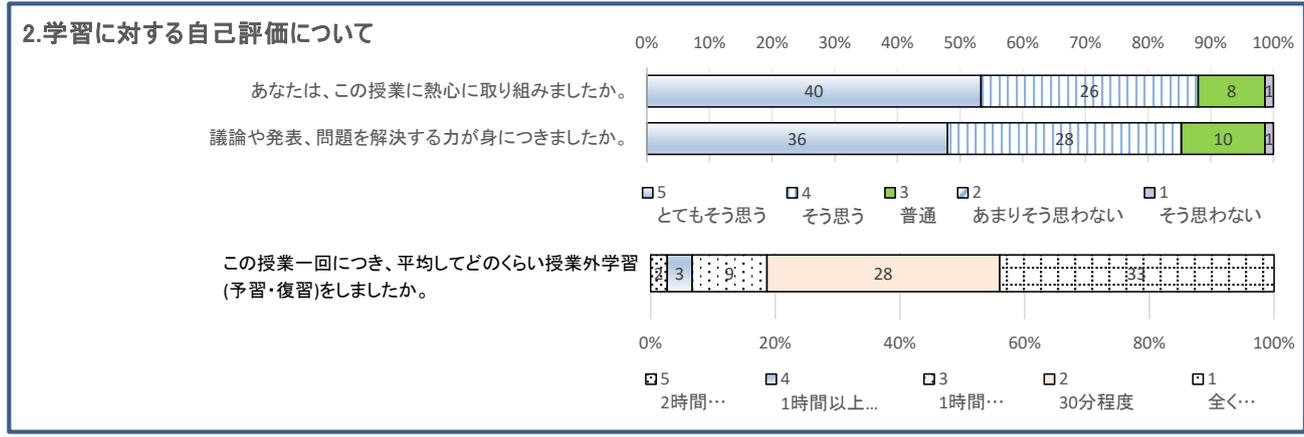
①現状(アンケート結果に対する考察)
この授業を履修している学生は、実習に行った経験などから主体的に選択していると思われる、概ね真面目に取り組んでいた。ほとんどの学生は教員の熱意を汲みとり、「この分野の学習を深めたい」とのアンケートでは4.8の高い結果が得られたのは喜ばしいことである。試験のピアノ曲を一人ひとりの希望に沿ったものにした事も一因と考えられる。この授業に熱心に取り組む、保育現場での音楽指導に自信をつけたことが窺われる。

②課題と展望(授業改善方策)
ピアノ演奏、ピアノ伴奏の習得の他に、前期からの継続として音楽の軸となる「音階」や「主要な3和音」の学習を発展させてきた。前期では4つの長調を学習したが後期では新たに短調を加えた。これは童謡の即興的な伴奏付けに応用できることを目的として指導してきたものだが、全員が合格できたことは喜ばしいことである。これは前後期を通して身につくものなので、今後とも是非1年通しての履修を推奨したい。授業外学習を行っていないという回答がいくつか見受けられたが、履修者が少なく個別指導をきめ細かく行えたことで授業時間内に課題をクリアできた学生が多かったことも回答結果の一因と考えられる。しかし授業時間外学習も含めた単位であることを繰り返し声掛けするとともに、学生がセルフマネジメントできるように根気強く練習の促し・指導をするという努力を続けたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	43	21	10	0	1	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	43	21	10	0	1	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	50	15	9	0	1	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	46	19	8	1	1	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	39	24	11	0	1	4.3
総平均							4.4



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	40	26	8	0	1	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	36	28	10	0	1	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	3	9	28	33	1.8

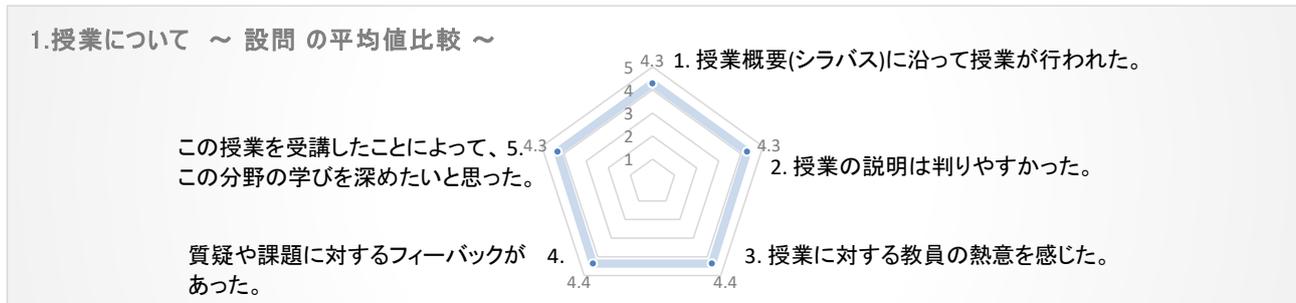


アンケートに対する教員所見

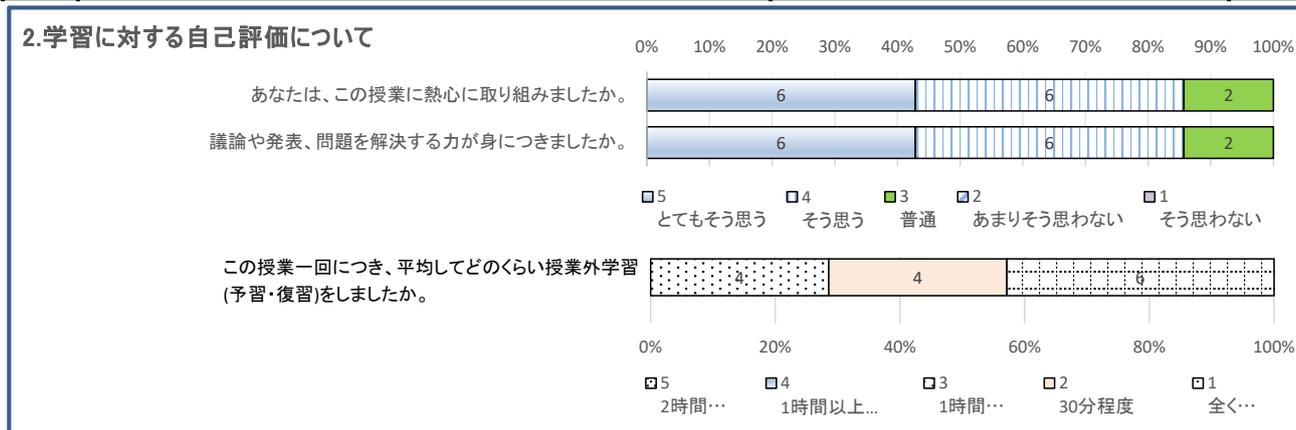
①現状(アンケート結果に対する考察)
 充実感、達成感をもって授業を振り返っている学生が多い。反面、授業外学習について、「30分程度」「全くしていない」と回答する学生の割合が他の科目よりも多い。学生の負担を考慮しつつ、これまで取り組んできた実習の総括という授業の趣旨にふさわしい課題提示が必要である。

②課題と展望(授業改善方策)
 実習発表会や遠足引率実習などの項目は、事前の準備や発表の準備に時間がかかるが、このあたりを中心に準備や振り返りのための時間外学修の設定を工夫してみる必要がある。

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	6	6	2	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	6	6	2	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	7	5	2	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	7	5	2	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	4	3	0	0	4.3
総平均							4.3



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	6	6	2	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	6	6	2	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	4	4	6	1.9



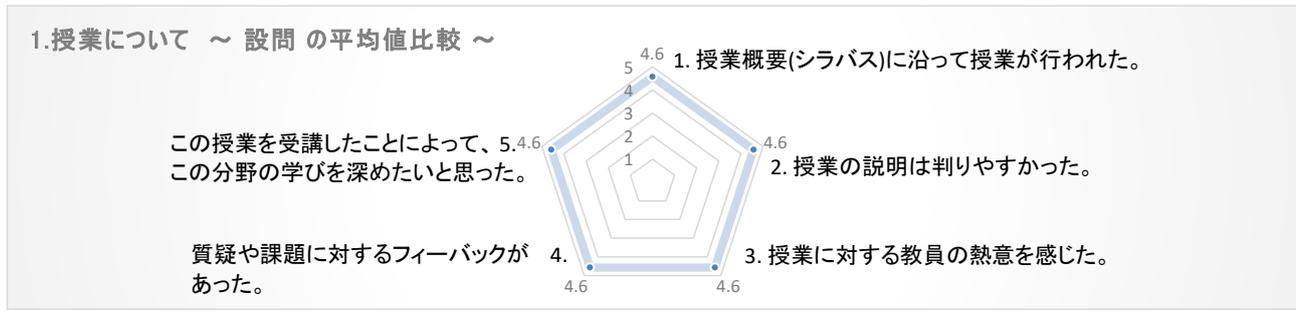
アンケートに対する教員所見

- ①現状(アンケート結果に対する考察)

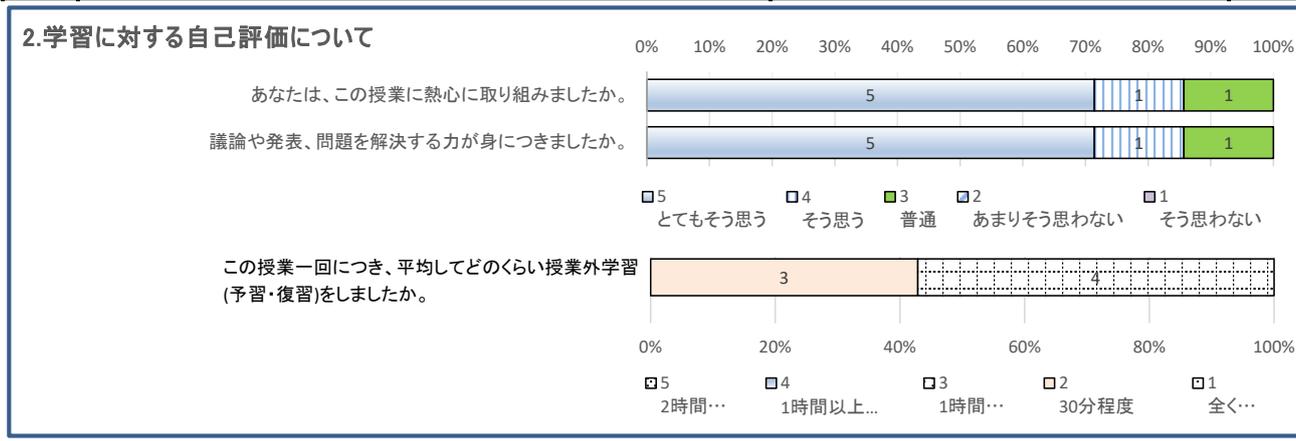
どの項目も全体的に「4, 3」程度を示していた。1年次の実習を終え、2年次の夏の実習に向けて「責任実習への取り組み」などを中心とした授業を行った。しかし、1年次に意欲の低下が見られる学生がいるなど、実習に向かう姿勢作りは難しかったと感じる。
- ②課題と展望(授業改善方策)

2年次はより高度な保育内容の修得が求められる。特に実習においては指導案内容や記録内容について質的な向上を目指している。その中で、学生たちの就職を念頭に置きながら、自身の課題に向かっていく姿勢づくりが課題である。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	1	1	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	1	1	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	1	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	1	1	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	1	1	0	0	4.6
総平均							4.6



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	1	1	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	1	1	0	0	4.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していません	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	0	3	4	1.4



アンケートに対する教員所見

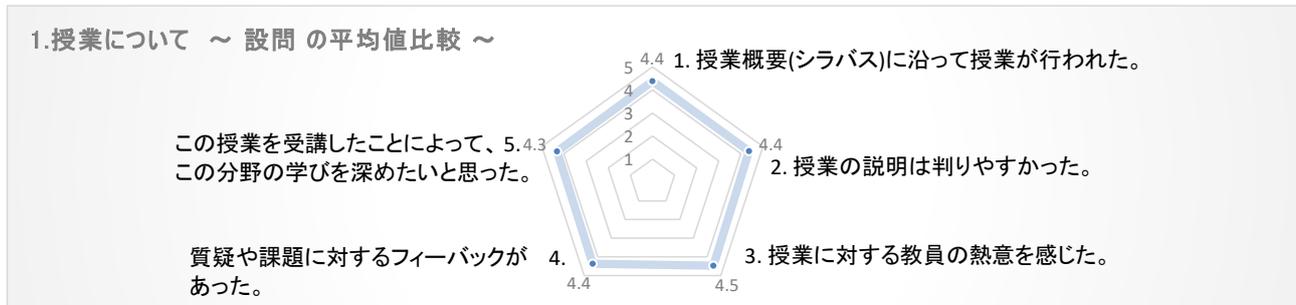
①現状(アンケート結果に対する考察)

熱心に取り組んだ、という自己評価が80%以上であり、授業理解なども平均4.6ポイントで高評価であった。小グループで計画をしたり、話し合えたりしたことがよかったのではないかと。

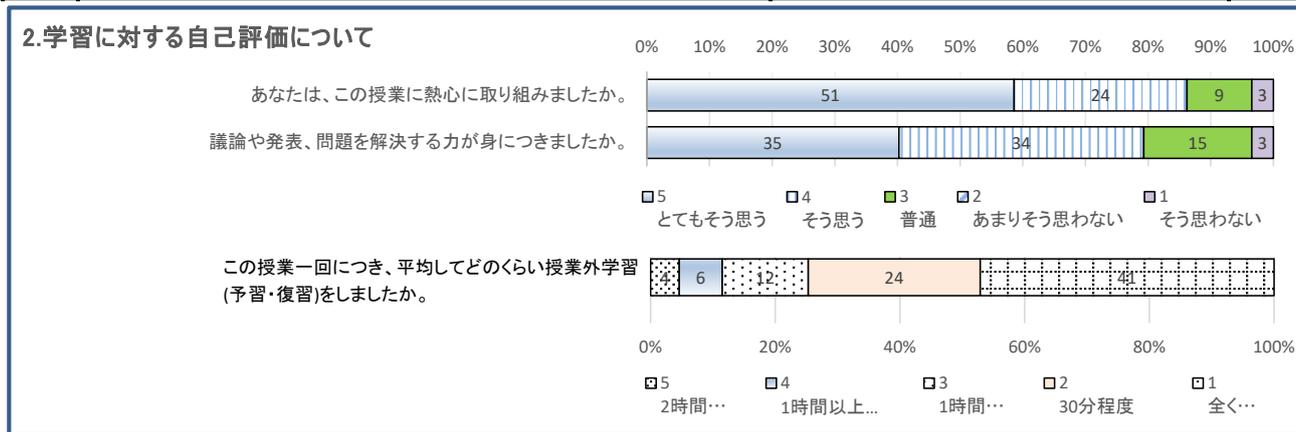
②今後の課題と展望(授業改善方策)

授業外の指導としてアルバイトやボランティアなども積極的にすすめていきたい。

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	50	26	8	0	3	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	50	24	10	1	2	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	58	18	8	0	3	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	51	23	10	0	3	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	50	20	14	0	3	4.3
総平均							4.4



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	51	24	9	0	3	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	35	34	15	0	3	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	6	12	24	41	1.9



アンケートに対する教員所見

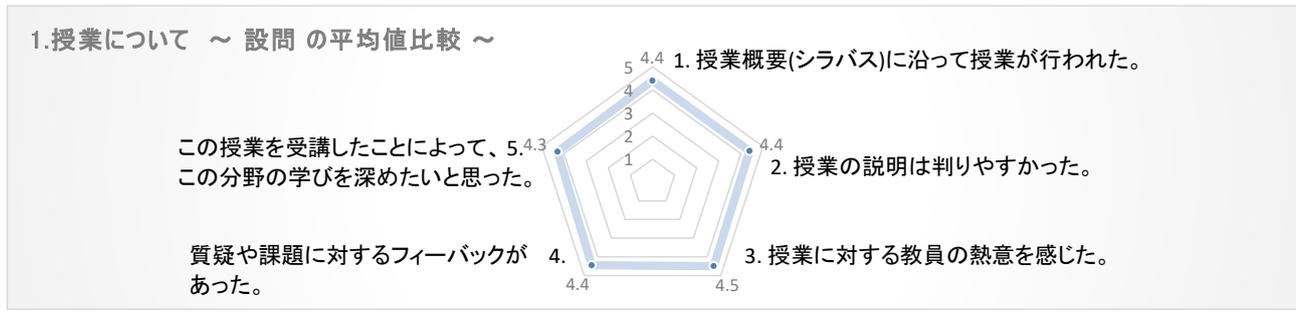
①現状(アンケート結果に対する考察)

当該科目は、教育実習Ⅱ(2年次:責任実習)の事前・事後指導として開講されている。教育実習Ⅱは学生にとって最後の実習となり、まとめの意味合いを持つ。そのため授業は、学生自身が学びを振り返り課題を見出せるよう組み立てた。アンケートの結果をみると、全体的に「とてもそう思う」の回答割合が高くなっており、多くの学生は満足感をもって熱心に取り組んでいることが窺えた。しかしながら授業時間外学習においては、約50%が「全くしていない」と回答しており、課題等を授業で集中して取り組み完結していると思われる。また、全項目において「そう思わない」と回答している者が一定数いたことから、全てにおいて受け入れていない学生がいたと思われる。

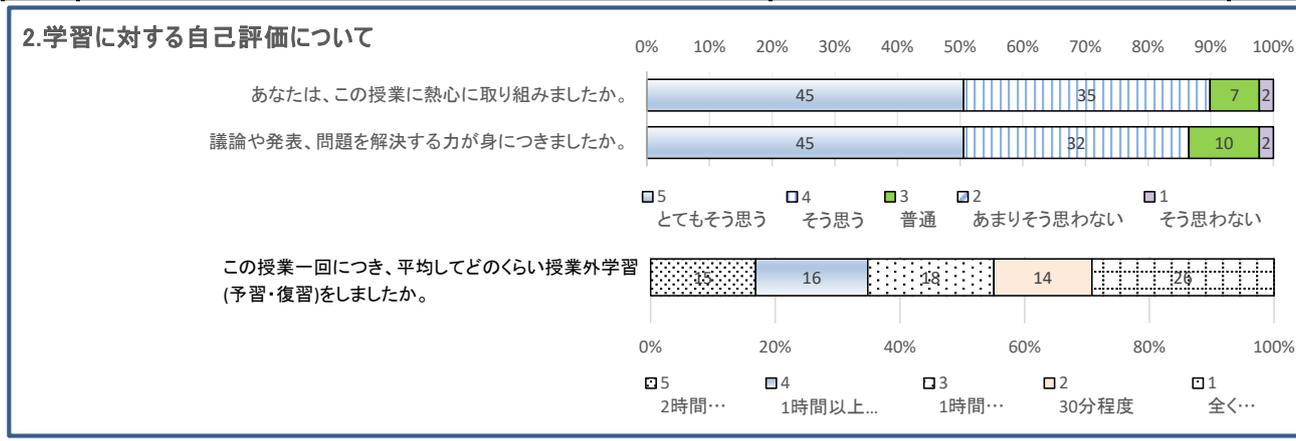
②課題と展望(授業改善方策)

「議論や発表、問題を解決する力が身についたか」の「とてもそう思う」の回答は約40%に止まっていることから、50%以上を目指していきたい。これに向けては、グループワークや発表が多く行えるよう授業を工夫していきたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	51	27	9	0	2	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	51	26	10	0	2	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	58	21	8	0	2	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	55	23	9	0	2	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	45	31	10	0	3	4.3
総平均							4.4



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	45	35	7	0	2	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	45	32	10	0	2	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	15	16	18	14	26	2.8



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
 「高い専門力」というキャッチフレーズを一番体現することのできるのが卒研ゼミであると考えている。人数制限と、学生の希望とをすり合わせる難しさはあるが、これまでのノウハウを生かして、学生の希望を最大限に尊重したゼミやグループが構成できたのではないだろうか。「そうは思わない」という回答が若干数みられるが、必ずしも希望通りのゼミではなかったからという理由ではないのかもしれない。最終ゴールまでの流れをゼミごとに入念に確認し、個人研究、グループ研究の取組を支援するための情報交換を進めていきたい。

②課題と展望(授業改善方策)
 来年度から従来の卒研ゼミのあり方が変わるが、それに伴って卒研ゼミの取組も細かく見直す必要が出てくる。卒研ゼミの全てが1年生の卒業研究Ⅰの「お手本」なることの意味合いが、今までよりもさらに強まること予想される。また研究系のゼミと発表・創作系のゼミのあり方も検討を重ねていく必要がある。ゼミの指導教員間の情報を緊密にとつていきたい。